



ユーザーマニュアル

第4章 ユーザー設定

TREND ROAD Designer Update3

2025年8月作成

※解説図に一部英語表記があり、実際の画面と異なる場合があります。ご了承ください。

第4章 ユーザー設定

この章では、インターフェイスのセットアップとカスタマイズについて説明します。特に、リボン、ユーザー設定、キーボードショートカットのカスタマイズについて説明します。

目次

4A TRDのインターフェイスの設定	1
4A.1 デフォルトのインターフェイス設定	1
4A.2 ツールバーのフローティング、ドッキング、ピン留め	3
4A.3 推奨のツールバーとインターフェイス設定	4
4B リボンとクイックアクセスツールバーのカスタマイズ	5
4B.1 リボンメニューのカスタマイズ - 概要	6
4B.2 リボンにタブを追加	7
4B.3 クイックアクセスツールバーのカスタマイズ	9
4C キーボードショートカットとファンクションキー	11
4C.1 デフォルトキーボードショートカット	11
4C.2 キー入力名の決定	14
4C.3 キーボードショートカットに便利なキー入力	17
4C.4 カスタムキーボードショートカットの作成 - 作業フロー	18
4C.5 ファンクションキー	20
4D ユーザー設定と選択事項	22
4D.1 閉じるコマンド	23
4D.2 マウスカーソルのサイズ変更	24
4D.3 マウスのクリック感度の変更	25
4D.4 非ドック状態のダイアログボックスの復元	26
4D.5 終了時に自動的に設定値を保存	27
4E キーボードショートカットと選択事項のバックアップと復元	28

出典

This manual is created by the Federal Highway Administration (FHWA) and translated by Fukui Computer.

We sincerely appreciate FHWA's permission to use the manual.

このマニュアルはアメリカ連邦高速道路局（FHWA）が作成し、福井コンピュータが翻訳したものです。FHWAよりマニュアルの使用許可をいただいております。

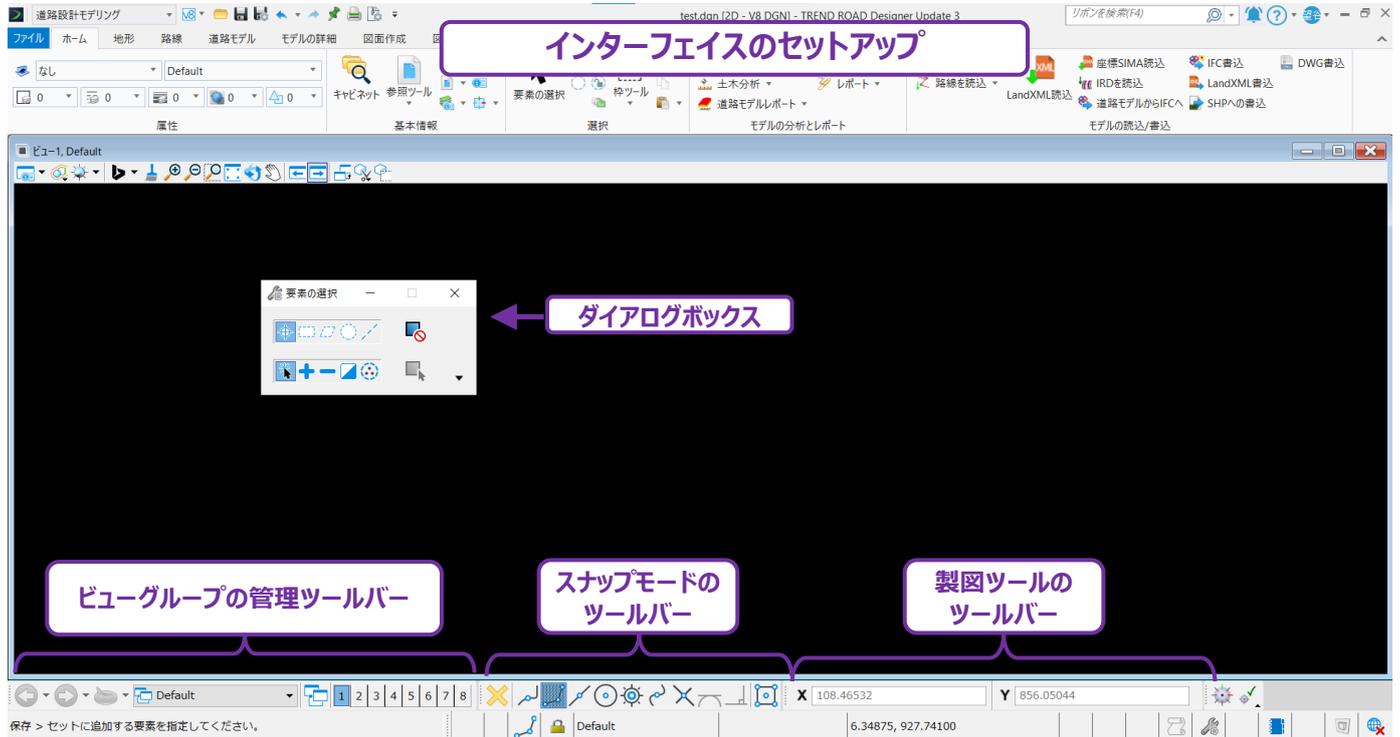
使用データ

- ・My City Construction・静岡県下田土木事務所・（一）河津下田線 伊豆地域振興対策道路整備事業に伴う設計業務委託
- ・国土地理院「地理院タイル（標高タイル）」 URL : <https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

4A TRDのインターフェイスの設定

4A.1 インターフェイス設定

TRDのインターフェイス設定は主に以下のように設定されています。



インターフェイス設定には、ダイアログボックス、ビューグループの管理ツールバー、スナップモードのツールバー、製図ツールのツールバーが表示されています。これらのツールバーは、TRDの操作に不可欠です。これらのツールバーが表示されていない場合は、以下に示す手順に従って表示してください。

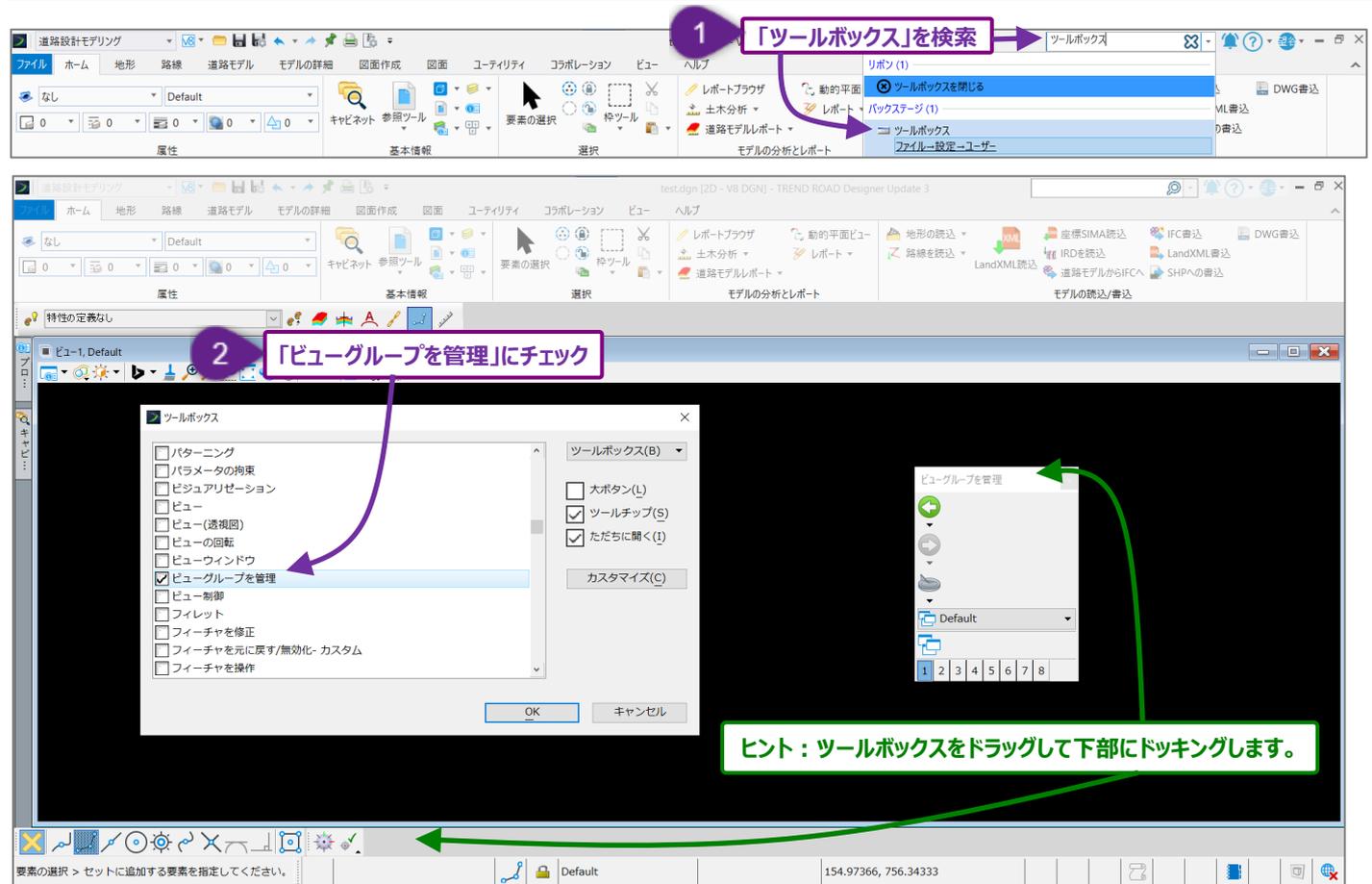
ダイアログボックスの表示方法：ダイアログボックスはツールを使用するたびに自動的に表示されます。ダイアログボックスを閉じることは可能ですが、次のツール操作時に再度表示されます。

推奨：ダイアログボックスはすべてのツールの操作に不可欠であり、常に表示しアクセスしやすい位置に配置してください。ダイアログボックスをドッキングすることも可能ですが、折りたたまないでください。

スナップモードのツールバーの表示方法：スナップモードのツールバーを開くには、検索バーで「スナップモード」を検索します。このツールバーはインターフェイスの下部にドッキングすることを推奨します。

ビューグループの管理ツールバーの表示方法：

1	<p>検索バーに「ツールボックス」と入力して選択します。</p> <p>他の方法： ツールボックスメニューは [ファイルメニュー → 設定 → ユーザー → ツールボックス] にもあります。</p>
2	<p>[ツールボックス] メニューで、[ビューグループを管理] にチェックを入れます。</p> <p>ヒント： 最初にツールボックスを開くと、ツールボックスはフローティングしています。ツールボックスのウィンドウをインターフェイスの下部または側面にドラッグしてドッキングさせます。</p>



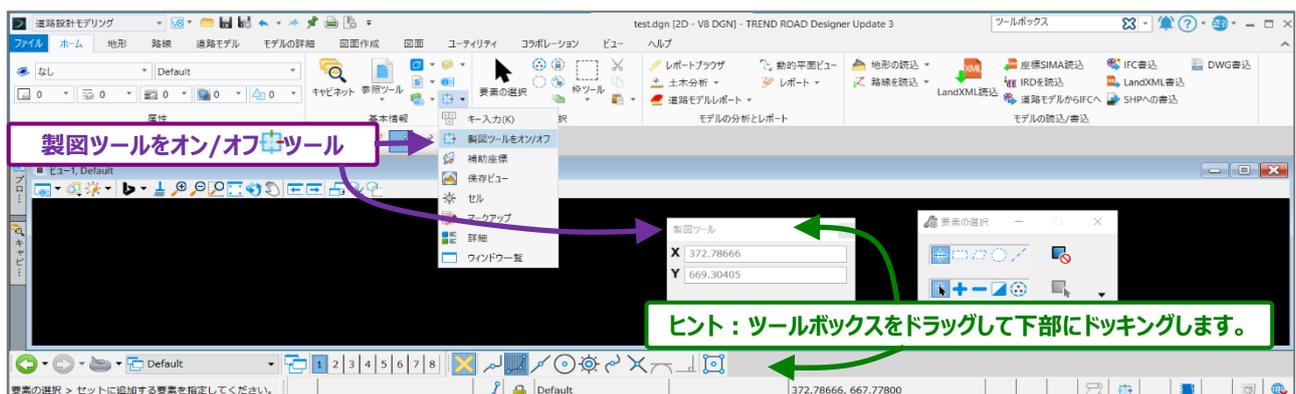
製図ツールのツールバーの表示方法：

製図ツールがオフにトグルされている場合、製図ツールのツールバーは表示されません。製図ツールのツールバーを復元するには、「製図ツールをオン/オフ」ツールを使用する必要があります。製図ツールの操作については、「6B 製図ツール」を参照してください。

製図ツールをオン/オフ ツールの、一般的なリボンの位置は次の2つです。

[道路設計モデリング作業フロー → ホームタブ → 基本情報グループ]

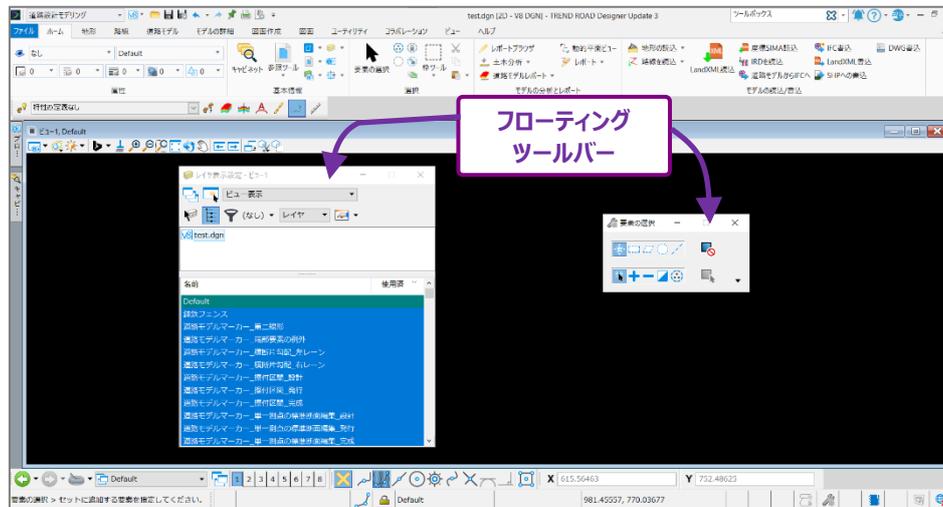
[図面作業フロー → ホームタブ → 基本情報グループ]



4A.2 ツールバーのフローティング、ドッキング、ピン留め

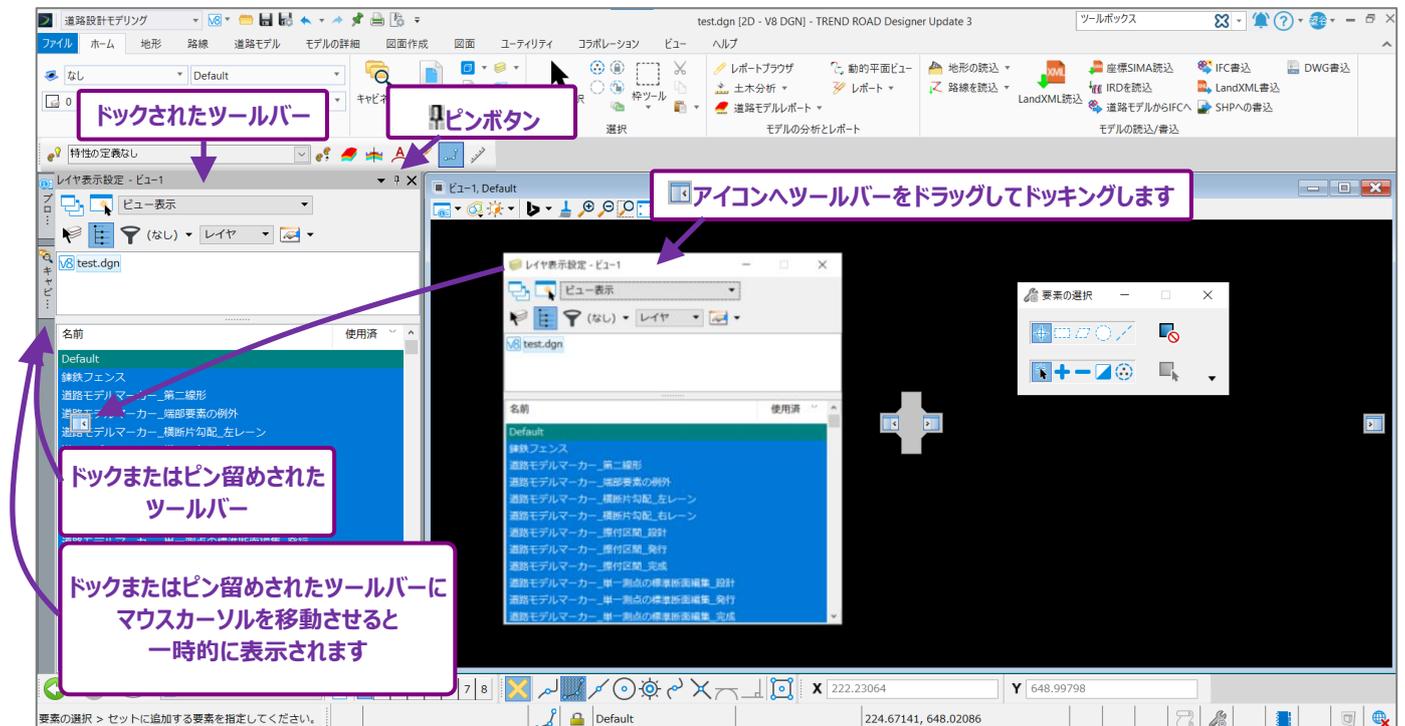
ツールバーは、フローティング、ドッキング、ピン留めすることができます。

フローティング：ツールバーがインターフェイスの上、下、左右側面にアタッチされていない場合、フローティング状態とみなされます。フローティングツールバーはドラッグして任意の位置に移動できます。



ドッキングピン留め：ツールバーを画面の下部または側面にドラッグしてドッキングします。ツールバーをドラッグすると、アイコンがインターフェイスの上、下、左右側面に表示されます。ドッキングするには、ツールバーを  ボタンにドラッグします。

ピン留め：ツールバーをドッキングした後、 ピンボタンを押すと、ツールバーを固定（折りたたみ）できます。ツールバーをピン留めした後、ツールバーの上にマウスポインタを置くと、一時的にツールバーが拡張されます。



4A.3 推奨のツールバーとインターフェイス設定

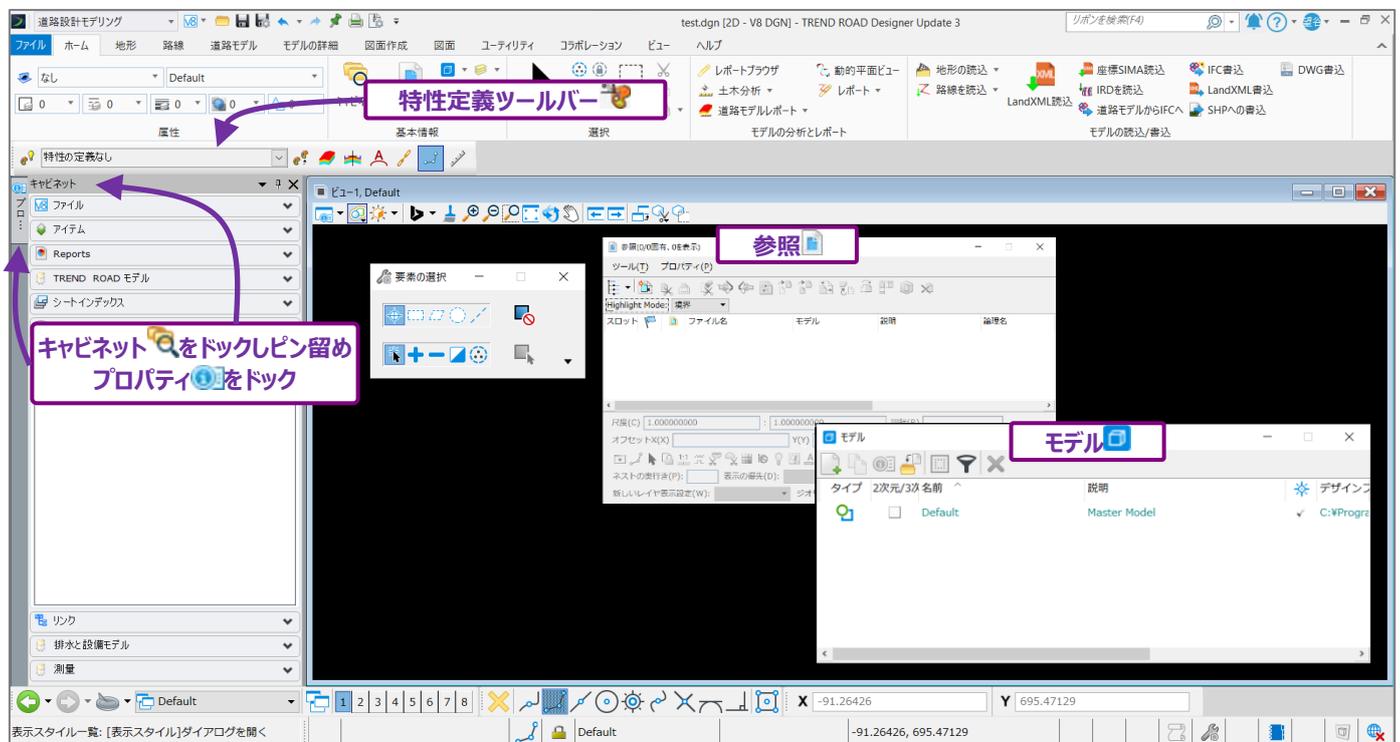
デフォルトのツールバー（製図ツールやビューグループの管理など）に加え、よく使うツールバーやメニューをアクセスしやすい位置に配置することも出来ます。

以下のツールバーはインターフェイスの上部にドッキングすることを推奨します。

- 特性定義ツールバー 

以下のツールバーは、インターフェイスの左側にドッキングさせるか、フローティングで配置してください。

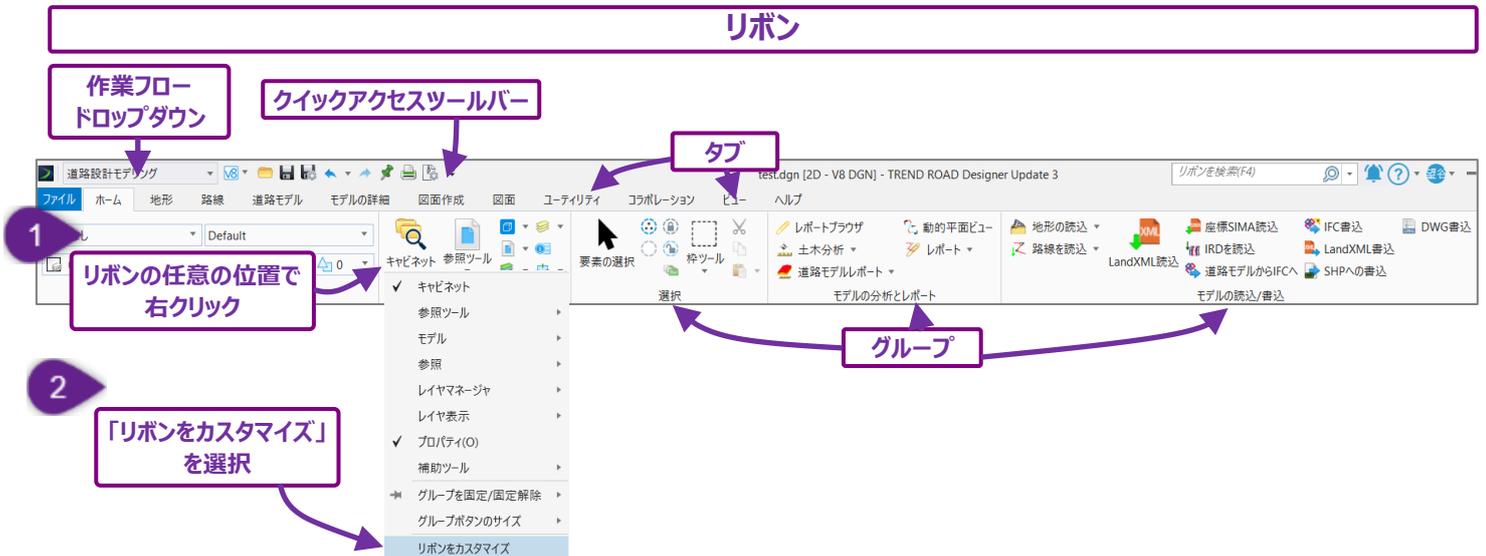
- 参照  マネージャ
- モデル  マネージャ
- レイヤ表示設定 
- キャビネット 
- プロパティ  - プロパティ  を開くと、dgnファイル内のすべての要素がプロパティ  で処理されるため、ファイルサイズの大きいdgnファイルを処理しきれなくなる可能性があります。全体的な処理時間を短縮するために、必要ときだけプロパティ  を開き、使用していないときは閉じてください。



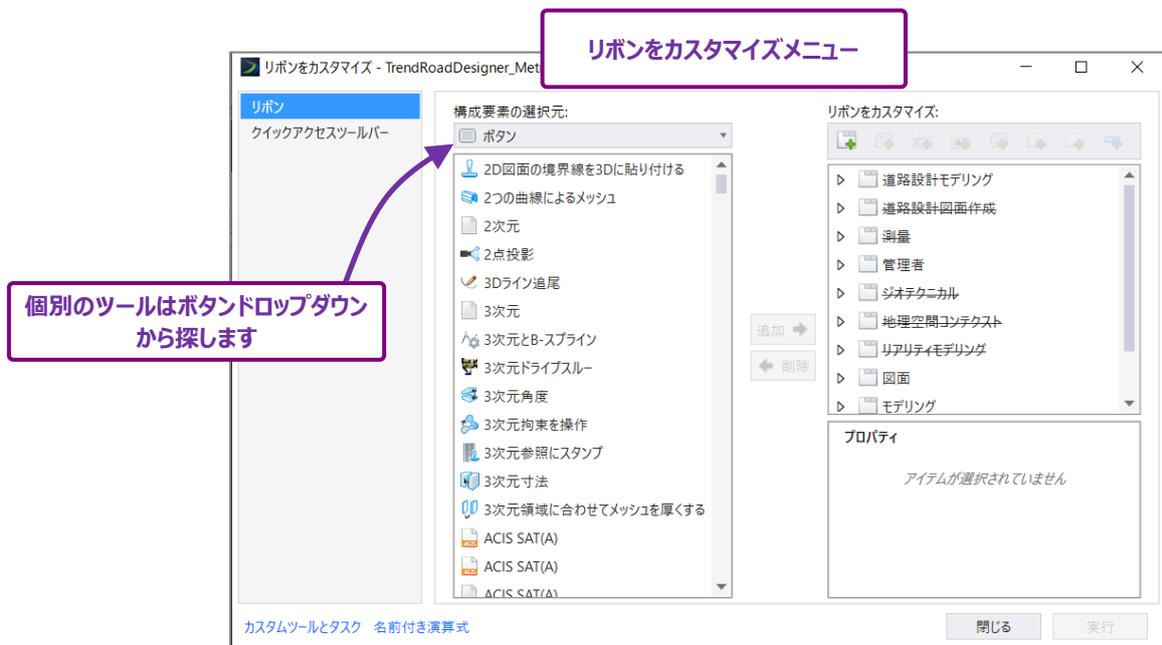
4B リボンとクイックアクセスツールバーのカスタマイズ

リボンはすべてカスタマイズ可能です。ツールはリボンのどの位置からでも追加・削除でき、作業フローからタブ全体を追加または削除することができます。カスタム作業フローの作成も可能です。

下図は、リボンの基本的な構造と用語を示しています。リボンのカスタマイズツールは、リボンの変更に使います。



1	リボンの任意の位置で右クリックします。
2	「リボンのカスタマイズ」ツールを選択します。



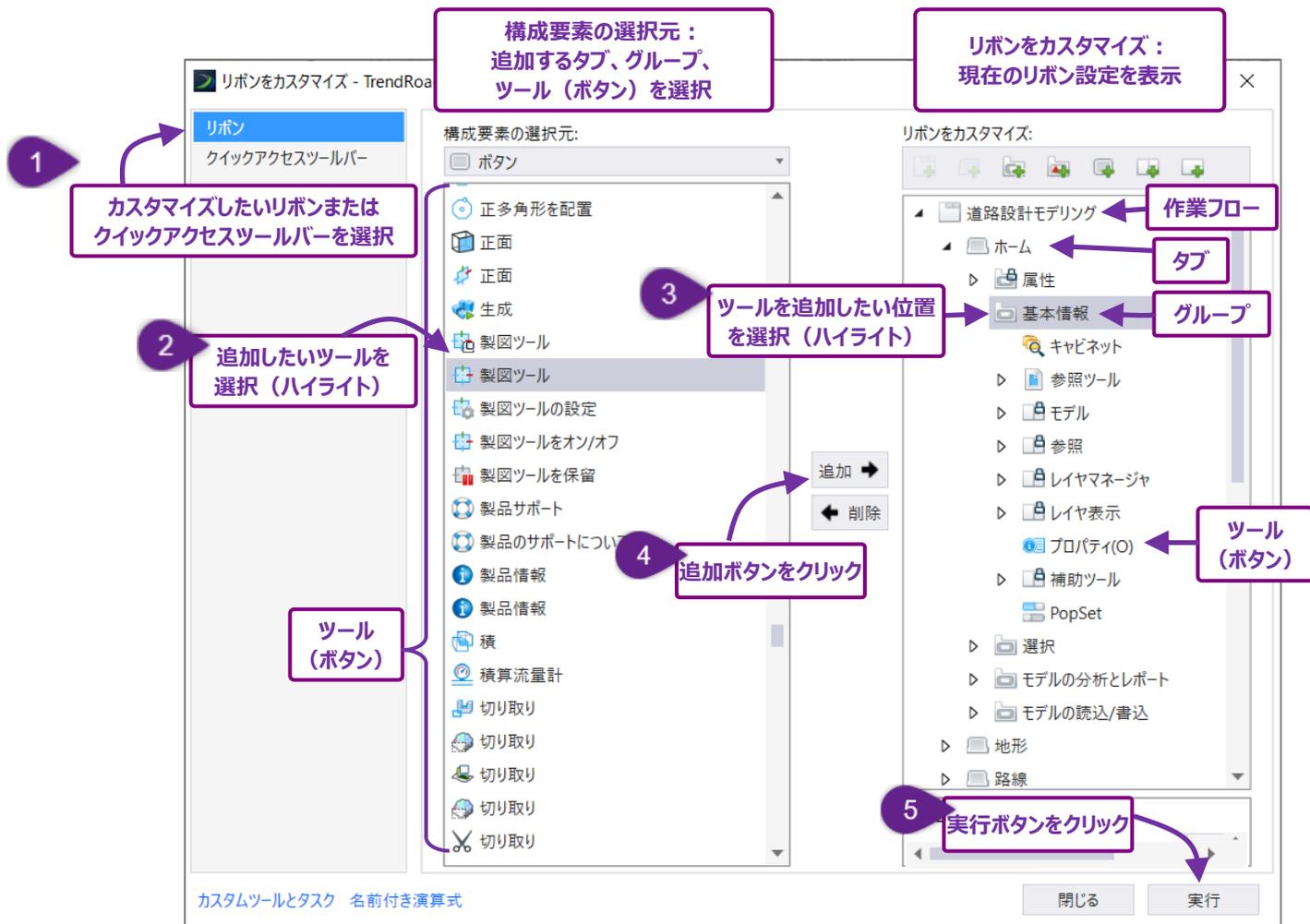
4B.1 リボンメニューのカスタマイズ - 概要

カスタマイズリボンメニューは2列に分かれています。

構成要素の選択元（左列）： ツール（ボタン）、タブ、グループを選択します。

リボンをカスタマイズ（右列）： 現在のリボン構成で使用されている作業フロー、タブ、グループ、ツールが一覧表示されます。

ツール(ボタン)、タブ、グループを左列から右列へ移動するときは「追加」、右列から左列へ移動するには「削除」を選択します。



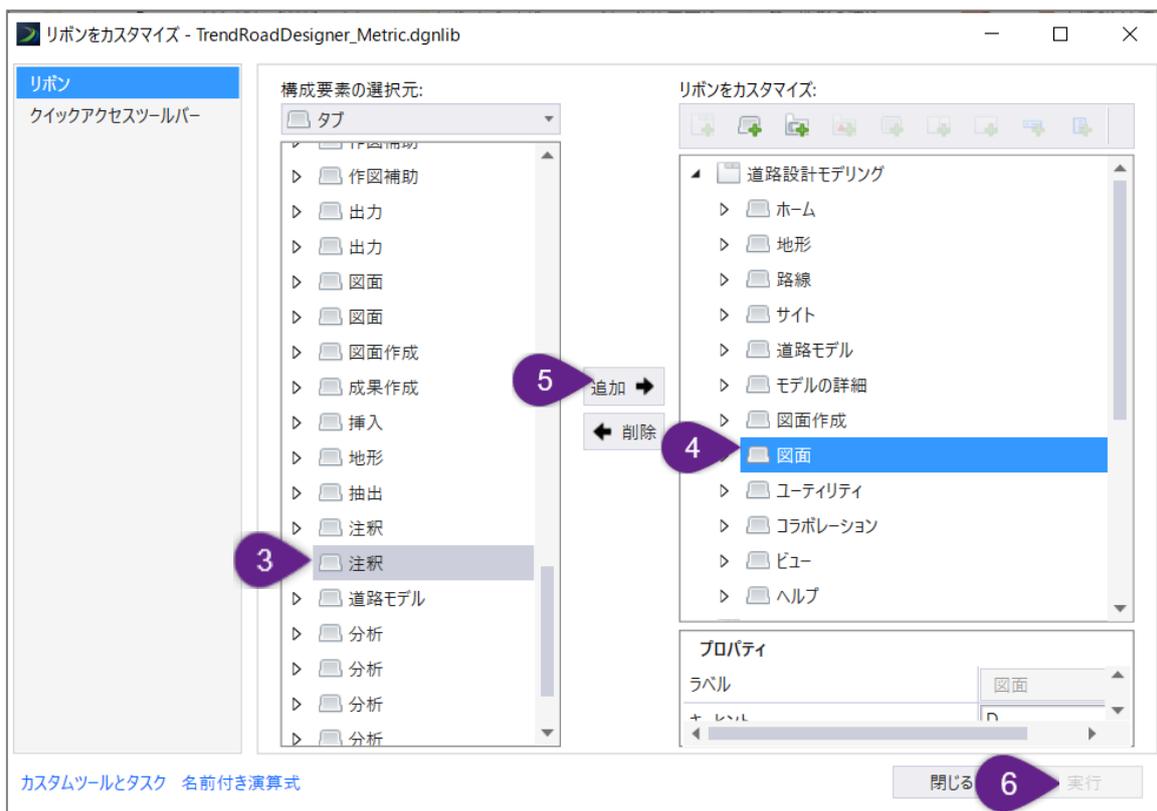
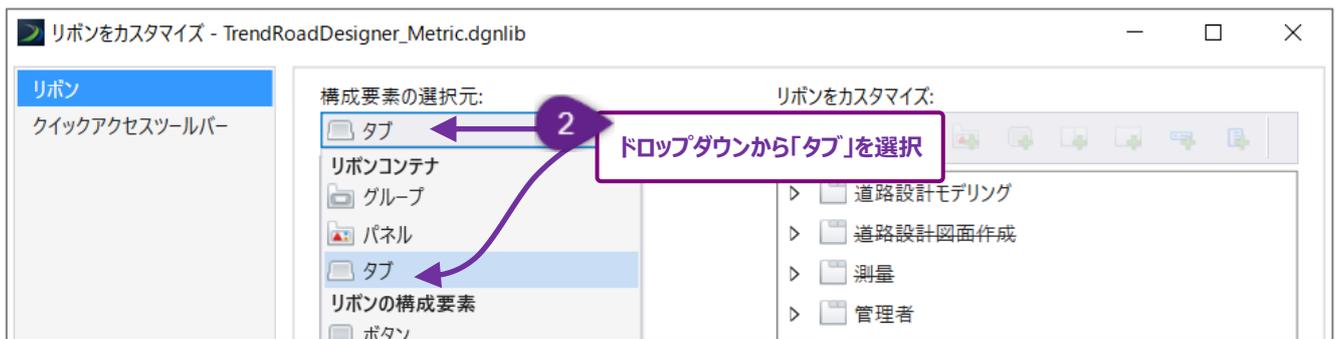
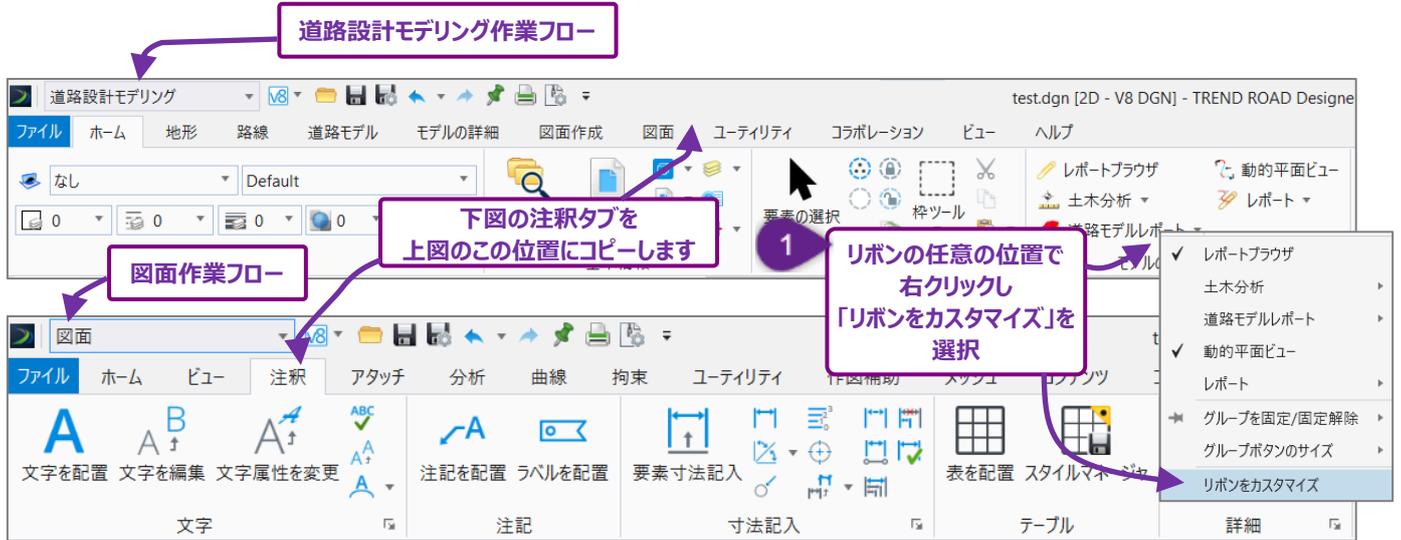
リボンにツール（ボタン）を追加する一般的な作業フロー：

1	左端の列で、カスタマイズしたいリボンまたはクイックアクセスツールバーを選択します。
2	構成要素の選択元（左列）から目的のツール（ボタン）を選択（ハイライト）します。
3	リボンをカスタマイズ（右列）で、ツールの配置位置を選択（ハイライト）します。
4	追加ボタンを押すと、ツールが左列から右列に移動します。
5	実行ボタンを押すと、リボンのカスタマイズが終了します。

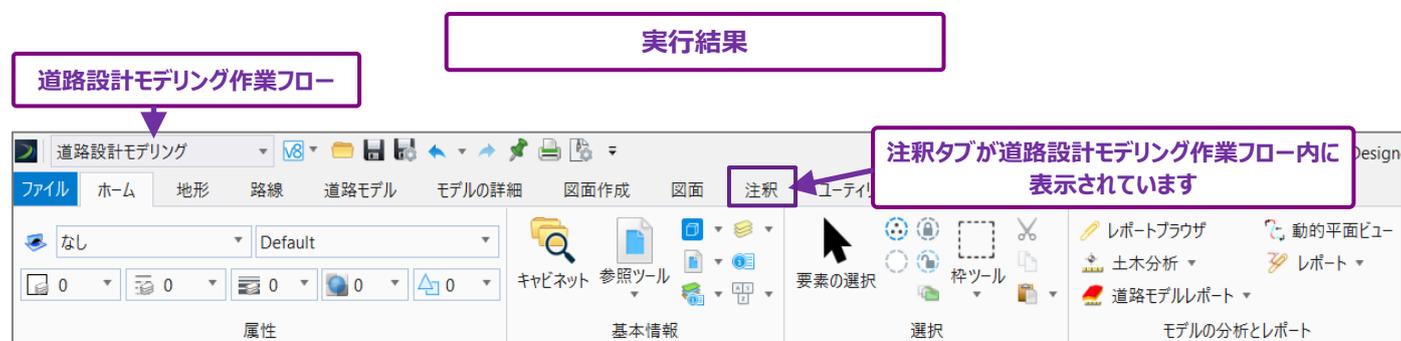
4B.2 リボンにタブを追加

この例では、道路設計モデリング作業フローに「注釈」タブを追加します。

注釈タブには寸法を記入するツールがあり、図面作業フローにあります。寸法ツールは道路設計モデリング作業フローにはありません。このカスタマイズを行うと、注釈タブにアクセスするために図面作業フローに切り替えずに、ツールを選択することができます。

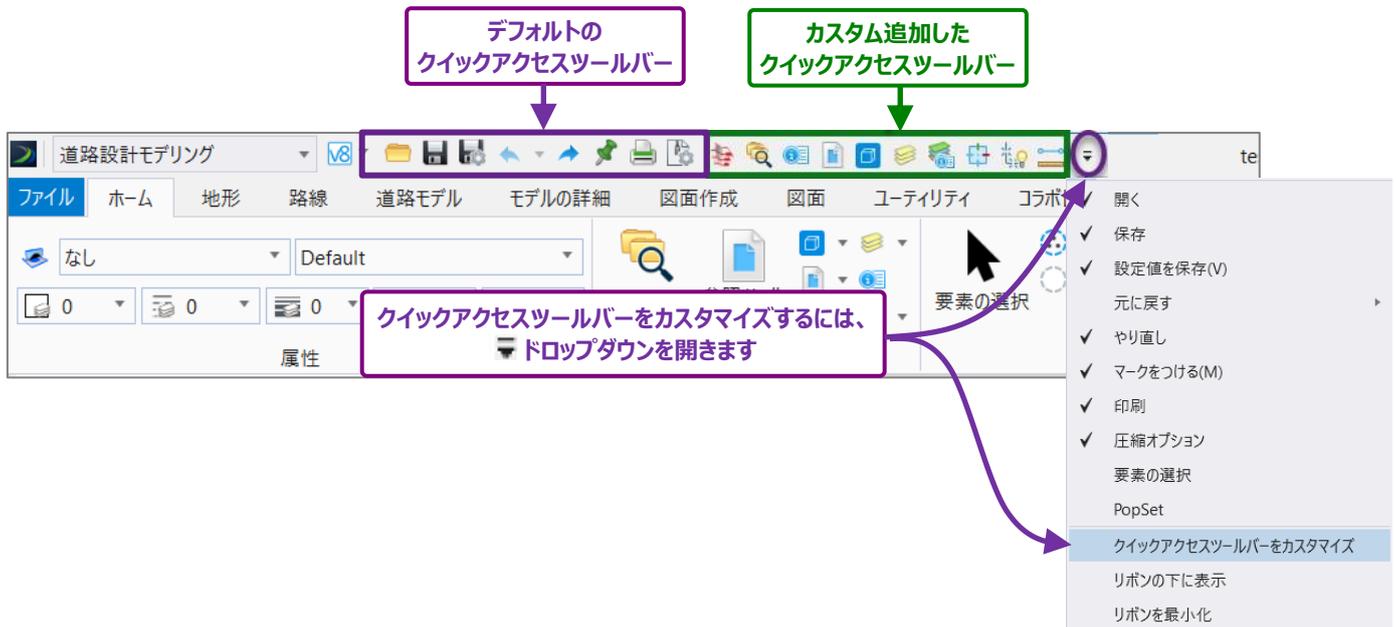


1	リボンを右クリックして、「リボンをカスタマイズ」を選択してメニューを開きます。
2	構成要素の選択元(左列)から、タブを選択します。
3	左列で、注釈タブを選択（ハイライト）します。 備考 ：左列には多くの複製タブがあり、異なる設定値のグループやツールが含まれている場合があります。例えば、2つの注釈タブでは、中身はほとんど同じですが地形モデルに注釈を設定するためのツールの追加グループが含まれています。 ヒント ：タブを展開すると、グループとツールが表示されます。
4	リボンをカスタマイズ（右列）で、タブのリボンの位置を選択（ハイライト）します。この例では、注釈タブは、道路設計モデリング作業フローの図面タブの次に配置されます。
5	追加ボタンを押すと、タブが左列から右列に移動します。
5	実行ボタンを押し、リボンのカスタマイズを完了します。



4B.3 クイックアクセスツールバーのカスタマイズ

クイックアクセスツールバーには、選択した作業フローやタブに関係なく表示されます。クイックアクセスツールバーによく使うツール、メニュー、マネージャを追加しておく便利です。クイックアクセスツールバーのカスタマイズツールを使用して、クイックアクセスツールバーにツールを追加します。

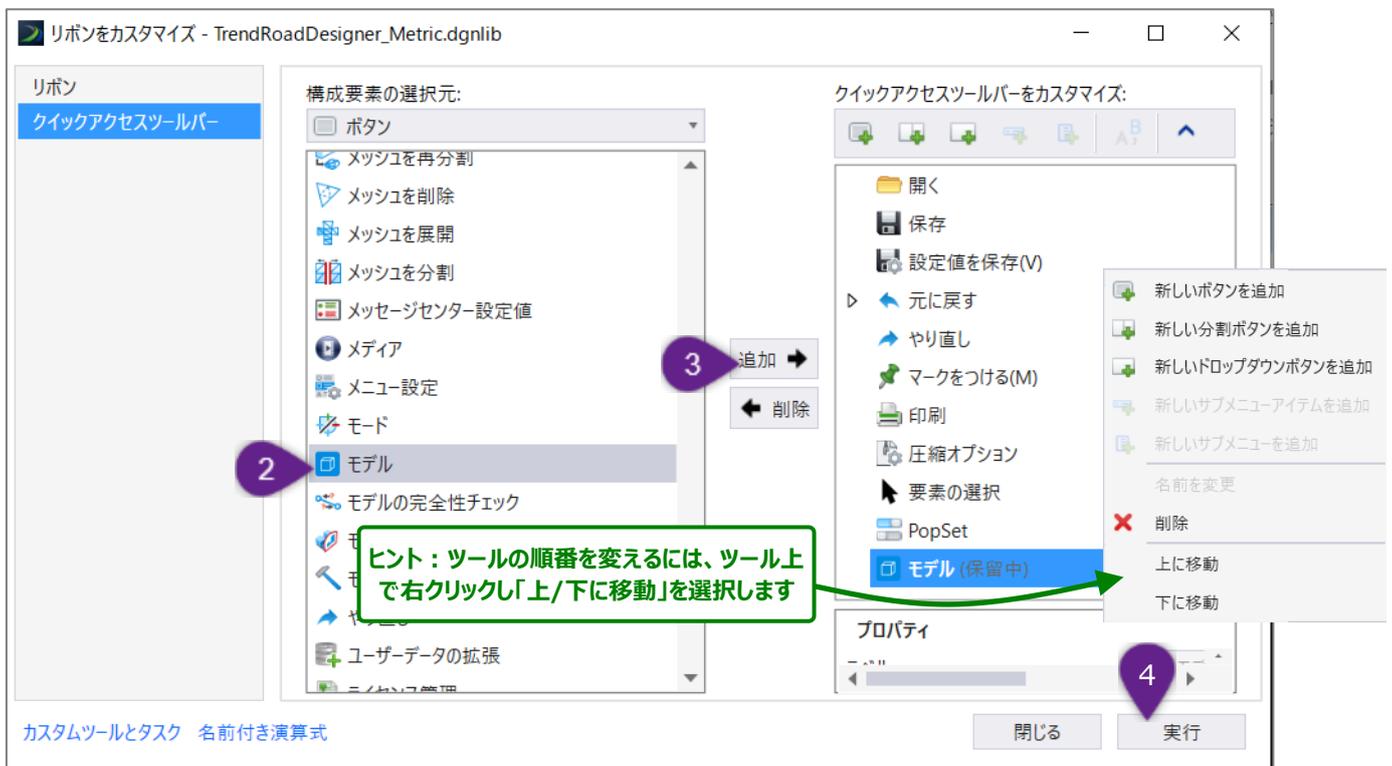
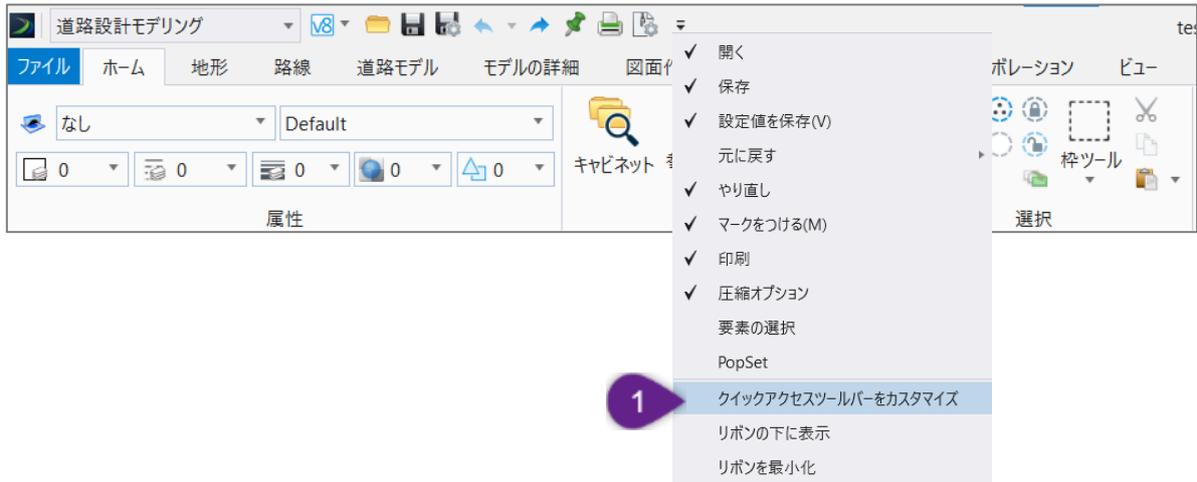


クイックアクセスツールバーに追加するおすすめツール：

- 印刷管理ツール
- キャビネット
- プロパティ
- 参照
- モデル
- レイヤ表示設定
- レイヤマネージャ
- 製図ツールをオン/オフ
- 距離を測定

ヒント：他の方法として、一般的なツールをキーボードショートカットやファンクションキーとしてプログラムすることができます。「4C キーボードショートカットとファンクションキー」を参照してください。頻繁に使用する図面ツール（スマートラインの配置、距離を測定）をキーボードショートカットまたはファンクションキーとしてプログラムします。

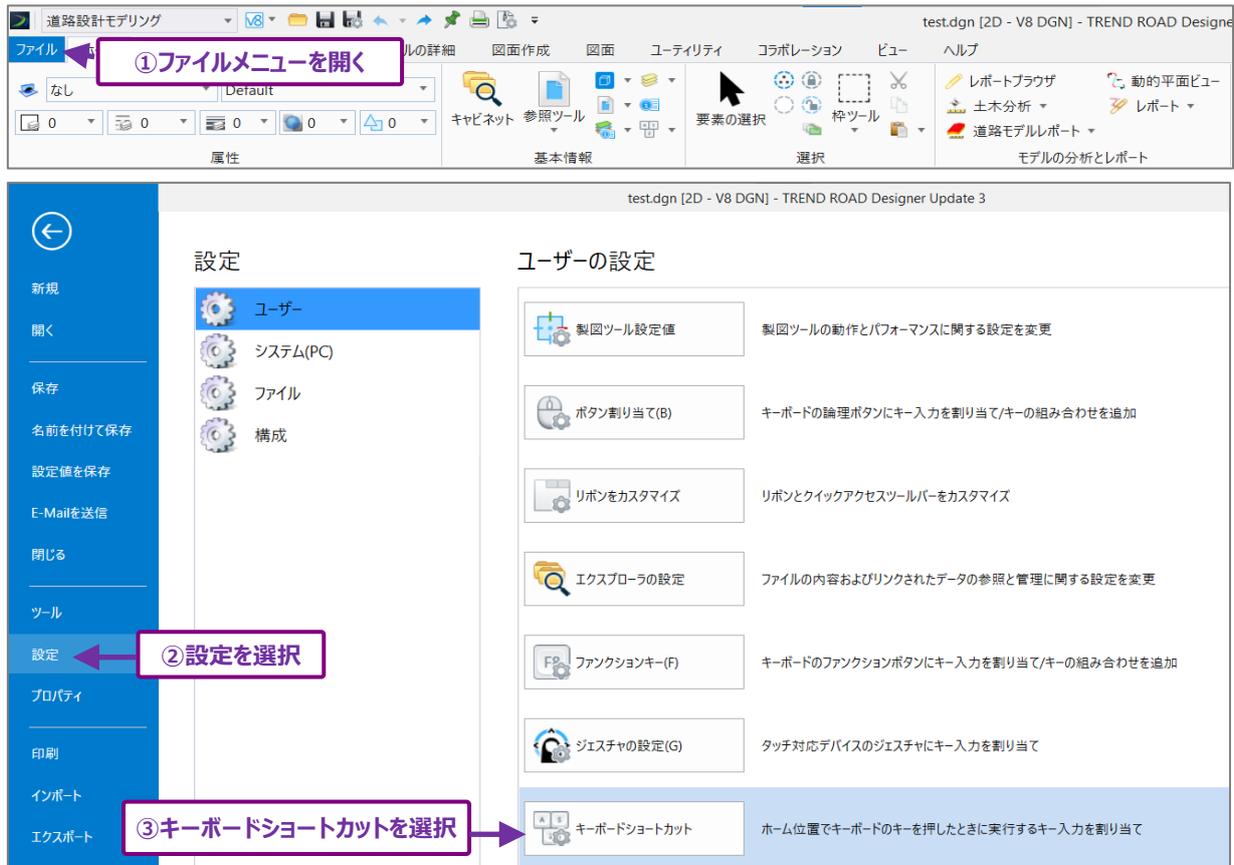
クイックアクセスツールバーにツールを追加する手順：



1	ドロップダウンからクイックアクセスツールバーのカスタマイズメニューを開きます。
2	構成要素の選択元（左列）から、ツール（ボタン）を選択します。
3	追加ボタンを押すと、タブが左列から右列に移動します。
4	実行ボタンを押すと、クイックアクセスツールバーのカスタマイズが完了します。

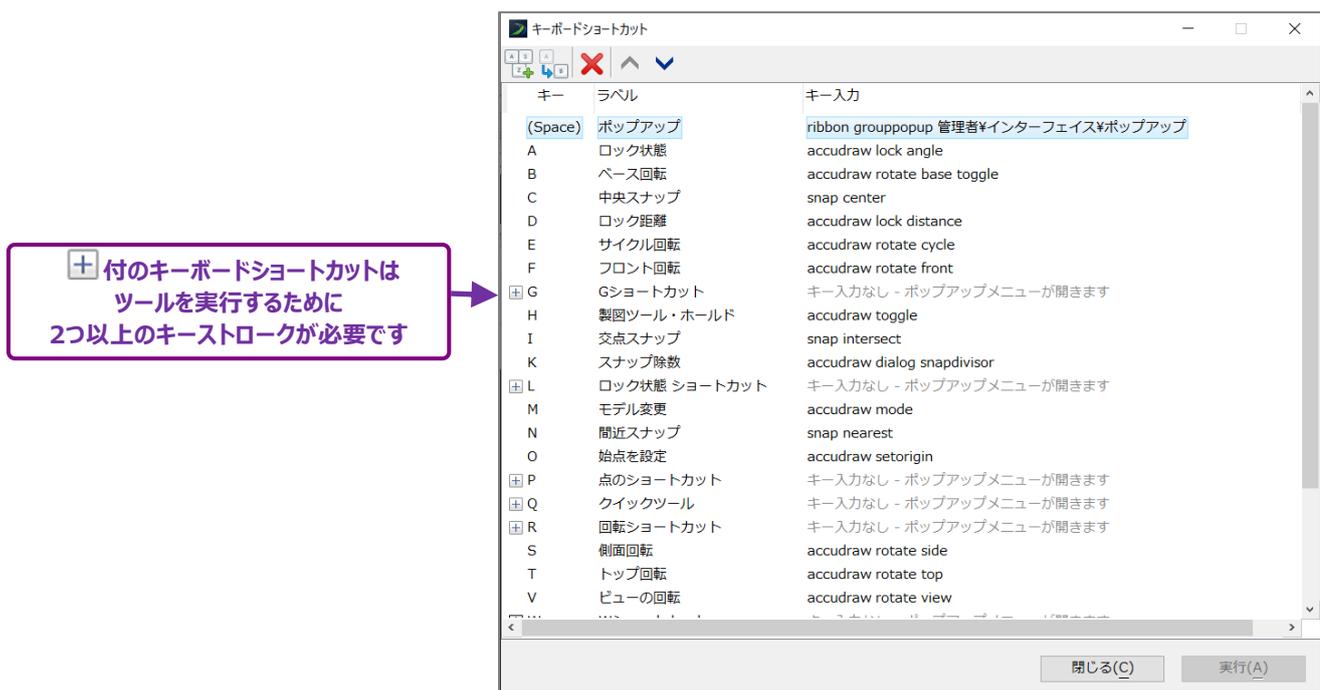
4C キーボードショートカットとファンクションキー

キーボードショートカットとは、キーボードキーにプログラムされたツールのことです。キーボードキーが押されると、対応するツールが実行されます。キーボードショートカットメニューは下図の流れで表示できます。



4C.1 デフォルトキーボードショートカット

下図はキーボードショートカットのデフォルト設定です。デフォルトのキーボードショートカットの大部分は、製図ツールのツールバーおよび製図ツールコンパスの操作に使用されます。製図ツールの詳細については、「6B 製図ツール」を参照してください。(スペース)、G、L、P等のキーボードショートカットは、ツールを実行するために2つ以上のキーストロークを必要とします。

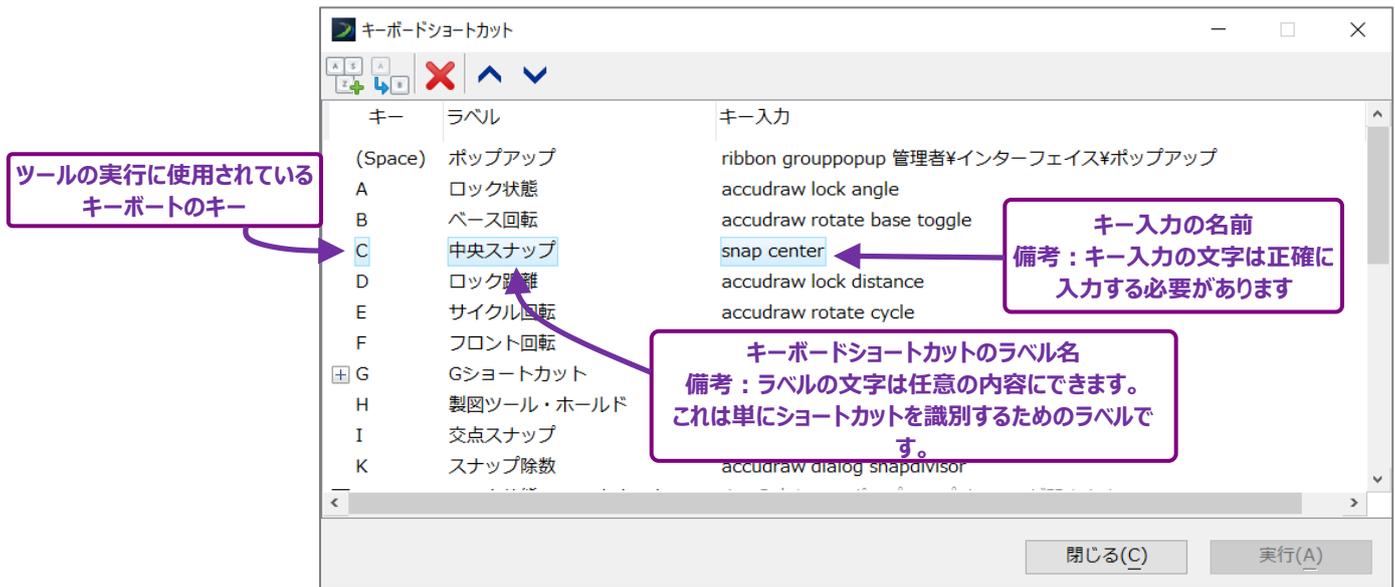


デフォルトのキーボードショートカット	
キー	説明 :
(スペース)	一般的なツールを含む一時的なツールバーを呼び出します。 
A	製図ツールのツールバーに表示されている現在の角度をロック状態にします。
B	製図ツールコンパスを前の方向に回転します。Bキーをもう一度押すと、製図ツールコンパスをビューの回転に戻します。
C	中央スナップをトグルONにします。
D	製図ツールのツールバーに表示されている現在の距離をロック状態にします。
E	3D設計モデル  でのみ有効で、Eキーを押すと、製図ツールコンパスが回転し、主要な平面に対して、X-Y平面（上面）、X-Z平面（前面）、Y-Z平面（側面）に整列します。
F	3D設計モデル  でのみ有効で、製図ツールのコンパスを回転させ、平面（X-Z）に合わせます。
G	「ACSを入手ツール」または「製図ツールの設定」を呼び出します。このツールは、以前に保存した補助座標系の方向を有効にするために使用します。
H	製図ツールコンパスのON/OFFをトグルします。
I	交差点スナップをトグルします。
J	(使用されていません)
K	キーポイントスナップで使用可能なスナップ分割数を変更します。 ヒント : 値を2に設定すると、スナップ可能な点は要素の終点と中点で見つかります。値を3に設定すると、終点だけでなく、1/3 と 2/3の長さの点でもスナップが見つかります。4に設定すると、スナップは要素の終点、中間点、1/4点になります。
L	この機能は3D図面モデル  で描画する際にのみ有効で、製図ツールのZロックモードを変更するために使用します。 ロックインデックスモード : Z座標がスナップ先の要素の標高に合わせて調整されます。 ロック状態 スティックキーZモード : Z座標が単一の値にロックされます。つまり、連続して描画される点のZ座標は、最初に指定した点のZ座標と同じになります。
M	製図ツールコンパスのモードを変更します。極座標（距離と角度）モードと直交座標（XとY）モードを切り替えます
N	間近スナップをトグルします。
O	製図ツールのコンパスを現在のマウスカーソルの位置に一時的に配置します。
P	要素を描画するとき、このキー入力を使って次の点の位置をデカルト値で指定します（X=3、Y=6など）。
Q	一般的な描画・操作ツールの一覧を呼び出します。例えば、Qキーを押してから Eキーを押すと要素コピーツールが実行されます。
R	製図ツールコンパスの回転に使用するツールの配列にアクセスするために使用します。
S	3D設計モデル  でのみ有効で、製図ツールのコンパスを回転させ、側面平面（Y-Z）に合わせます。
T	3D設計モデル  でのみ有効で、製図ツールのコンパスを回転させ、平面（X-Y）に合わせます。
U	(使用されていません)

V	製図ツールのコンパスをリセットし、ビューウィンドウに合わせます。V "キーを押した後、製図ツールのコンパスは上下左右にまっすぐに整列します。
W	現在の ACS の方向または位置を保存して名前別にします。
X	製図ツールのツールバーに表示されている現在のX値をロックします。
Y	製図ツールのツールバーに表示されている現在のY値をロックします。
Z	製図ツールのツールバーに表示されている現在のZ値をロックします。

4C.2 キー入力名の決定

カスタムキーボードショートカットを作成するには、ツールの正確なキー入力名を知っている必要があります。キー入力名の入力に誤りがある場合、キーボードショートカットを実行しても何も行われません。

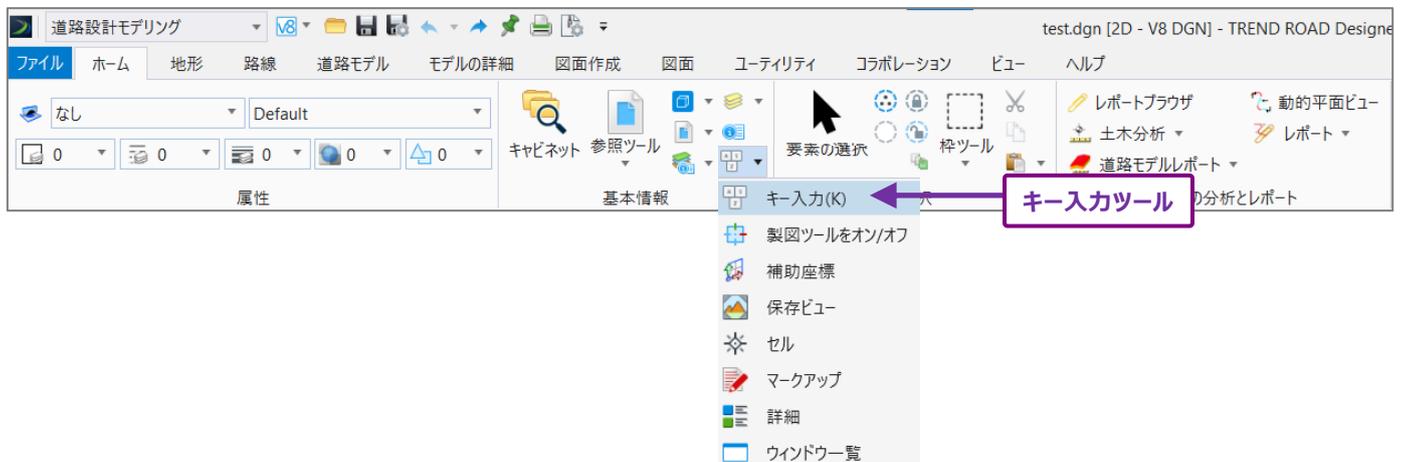


すべてのツールには対応するキー入力名があり、キー入力  ツールメニューから決定できます。

キー入力  ツールは、リボンの多くの位置にあります。一般的なリボンの位置は次の2つです。

[道路設計モデリング作業フロー → ホームタブ → 基本情報グループ]

[図面作業フロー → ホームタブ → 基本情報グループ]



「カレントキー入力」ボックスに表示されるキー入力名は、用語1から用語4までの用語を選択することで作成されます。通常、キー入力名は2～3語で構成されています。

キー入力を作成するには、「用語1」リストから用語を選択（ハイライト）し、必要に応じて「用語2」、「用語3」、「用語4」のリストに進みます。用語を選択（ハイライト）すると、メニュー上部の「カレントキー入力」ボックスに追加されます。

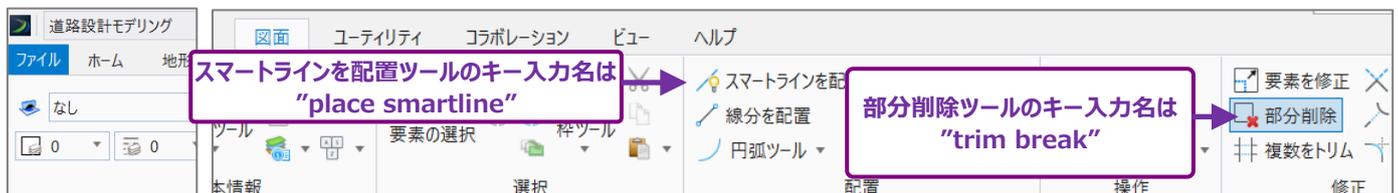
備考：ツールのキー入力名がわかっている場合は、直接「カレントキー入力」ボックスに入力します。

最後にEnterキーを押して、「カレントキー入力」ボックスに表示されているツールを実行します。

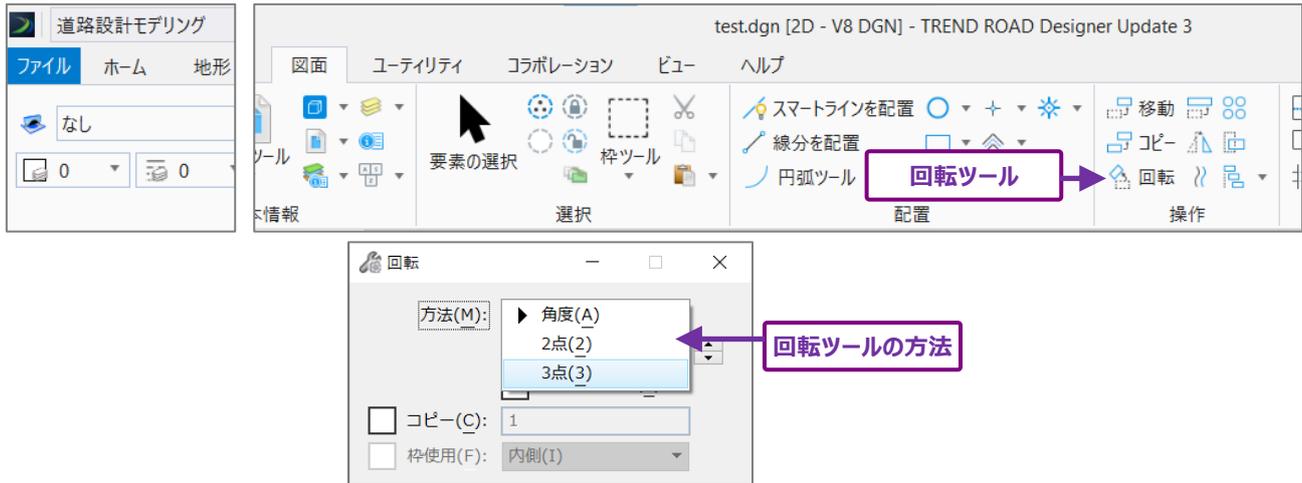


通常、キー入力名はツール名と同じです。例えば、「スマートラインを配置」ツールは、**用語1**は "place"、**用語2**は "smartline" で、キー入力名は place smartline です。

ただし、ツールによってはツール名と一致しないキー入力名を持つ場合があります。例えば、要素の「部分削除」ツールのキー入力名は "trim break" です。

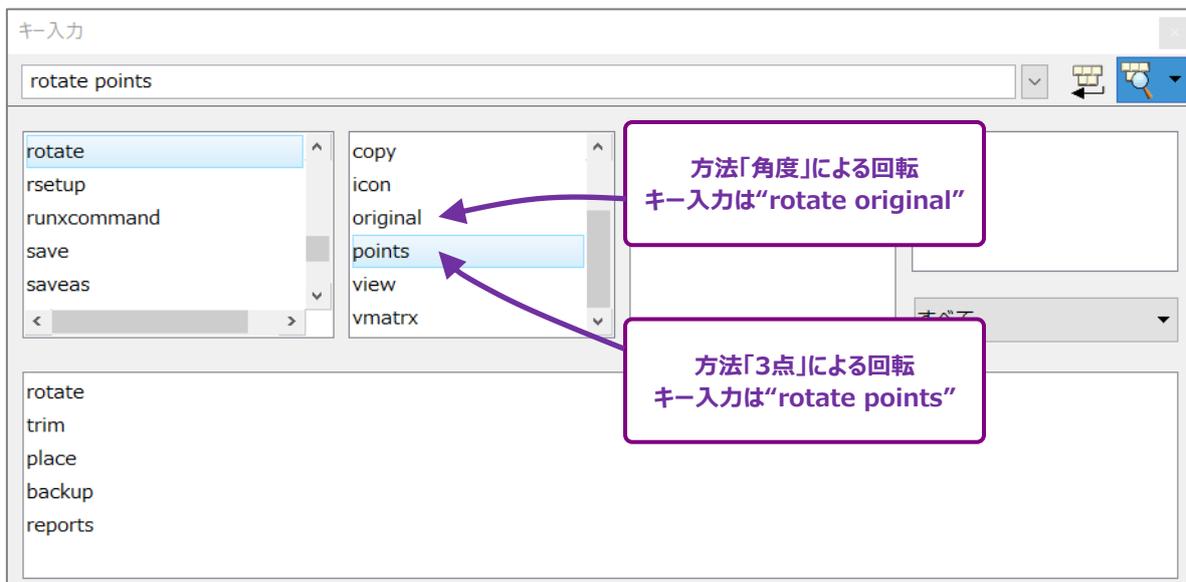


多くのツールには、ツール操作で利用できる様々な方法または設定値があります。例えば、回転ツールのダイアログでは、回転方法を角度、2点、3点から選択します。



通常、各ツールのダイアログで指定する方法には、固有のキー入力名があります。方法を指定するには追加の用語が必要です。下図のように、角度指定による回転のキー入力名は "rotate original "です。3点指定による回転のキー入力名は "rotate points "です。

備考： 2点回転方法には対応するキー入力名はありません。



備考： キー入力による「回転」ツールの実行は、リボンの回転ツールボタン（アイコン）を押して実行するものと同じです。前回実行した回転ツールの方法が記憶され使用されます。

備考： 用語1の「回転」の次にある用語2の中には、回転ツールに適用できないものもあります。例えば、"rotate view "というキー入力はビューウィンドウを回転させるために使用する「ビューを回転」ツールを実行します。

4C.3 キーボードショートカットに便利なキー入力

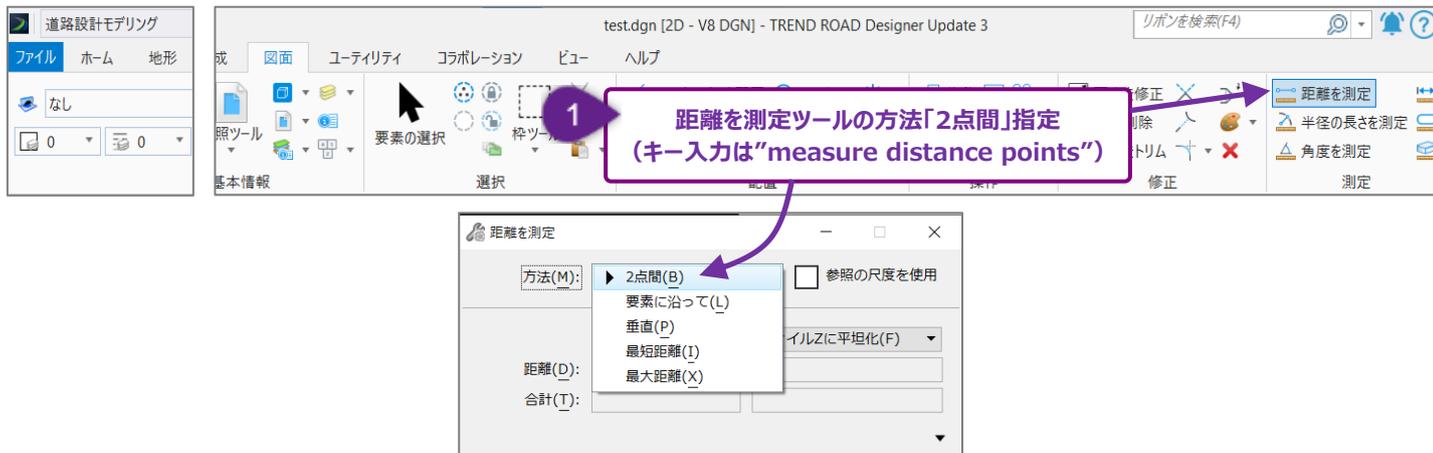
下表は、推奨されるキーボードショートカットのキー入力です。

デフォルトキーボードショートカット		
ツール	キー入力	説明：
レイヤを変更	levelmanager level offbyelem	このキーボードショートカットが実行されている場合、要素をクリックすると、その要素のレイヤ表示がオフに切り替わります。 レイヤ表示設定からレイヤを探すことなく、レイヤを非表示に素早く切り替えることができます。
要素ごとに製図ツールを回転	accudraw rotate element	このキーボードショートカットを実行すると、要素をクリックすると製図ツールコンパスが回転し、選択要素に合わせて配置されます。 参照要素に合わせて製図ツールコンパスを簡単に回転できます。
要素コピー	copy	要素をコピーします。
要素移動	move element	要素を移動します。
3点で要素を回転	rotate points	要素を3点指定で回転します。
文字：矢印と引き出し線付き	place note	テキストエディタを表示し、引き出し線の矢印付きの文字要素を作成します。
文字を配置	place text	文字をカレントキー入力ボックスに入力し配置します。
線分を配置	place line	線分要素を作成します。
スマートラインを配置	place smartline	スマートライン要素を作成します。
平行移動	move parallel offset	要素を平行移動します。
複数をトリム	trim multiple	参照要素で終了するように要素をトリムまたは拡張します。
部分削除	trim break	要素を分割します。
データ点間距離： 累積測定	measure distance points	2点間の距離を測定します。
2線間の角度を測定	measure angle	2つの要素間の角度を測定します。
面積と全周： 領域を1点で指定	measure area flood	単一または複数の要素によって形成される囲まれた領域を測定します。
角度を2点で設定	active angle pt2	任意の2点の位置をクリックして、現在のアクティブ角度を設定します。
曲線の方向を変更	change direction	汎用要素（線分、スマートライン、複合連結など）の方向を変更します。線種が上下逆さまに表示されている場合は、このキー入力を使用して反転します。 方向変更キー入力は、「6I.5 線種の方法を反転」を参照してください。

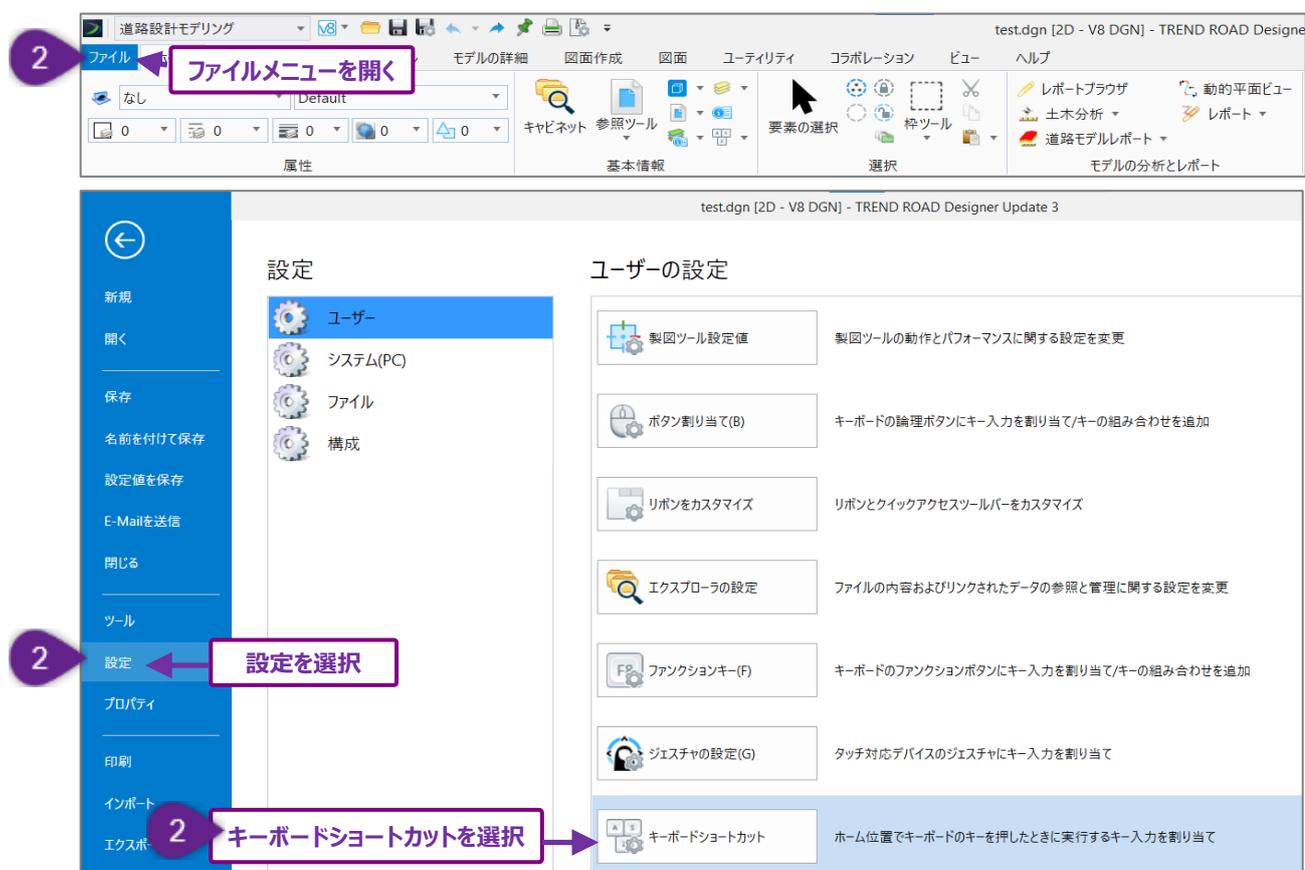
4C.4 カスタムキーボードショートカットの作成 - 作業フロー

この例では、「距離を測定」ツールの方「2点間」指定で、キーボードショートカットを作成します。このツールのキー入力名は「measure distance points」です。キーボードショートカットは「M」キーに割り当てます。

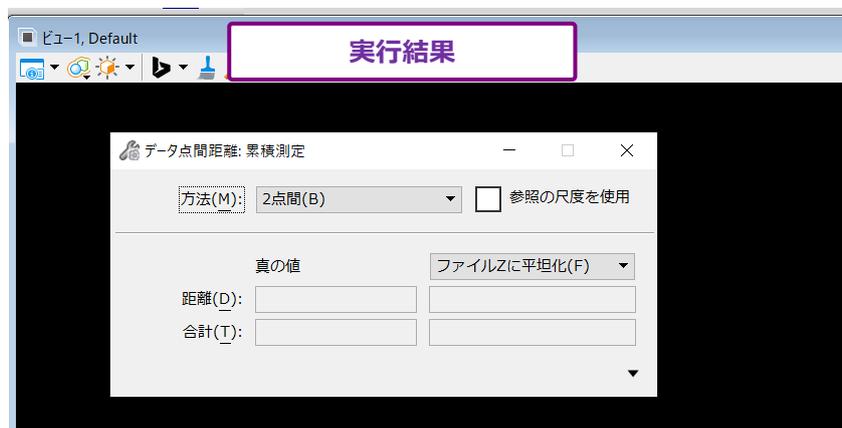
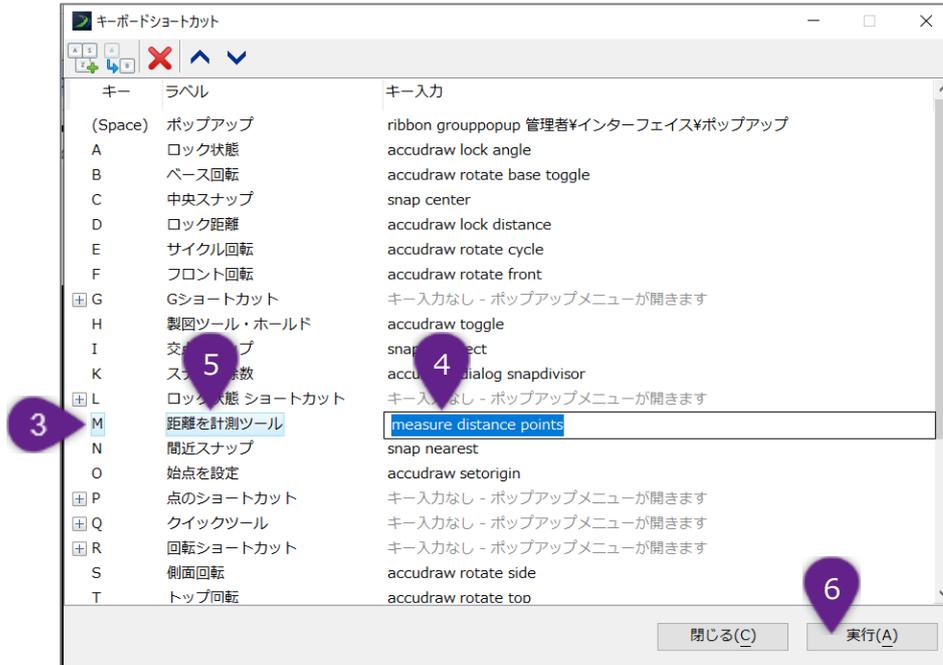
設定が完了すると、「M」キーを押すと「距離を測定」ツールが実行されるようになります。



1	<p>キーボードショートカットツールのキー入力名を決めます。この例では、キー入力は "measure distance points" です（「4C.2 キー入力名の決定」を参照）。</p> <p>ヒント： キー入力名をテストするには、キー入力  ツールを使用します。このプロセスにより、キーボードショートカットとしてプログラムされたときに、キー入力名が期待どおりに機能することが保証されます。</p>
2	<p>キーボードショートカットメニューを開きます：ファイルメニュー → 設定 → ユーザー → キーボードショートカット</p>



- 3 キーボードショートカットに使用するキーを決定します。この例では、"M"キーをショートカットに割り当てます。
- 4 "M"キーに対応するキー入力ボックスをダブルクリックし、ツールのキー入力名をタイプ終了します。この例では、"measure distance points"とタイプします。キータイプは正確に入力してください。
- 5 "M"キーに対応するラベルボックスをダブルクリックし、キーボードショートカットの適切な説明をタイプします。この例では、"距離を計測ツール"と入力します。
- 6 実行ボタンをクリックします。



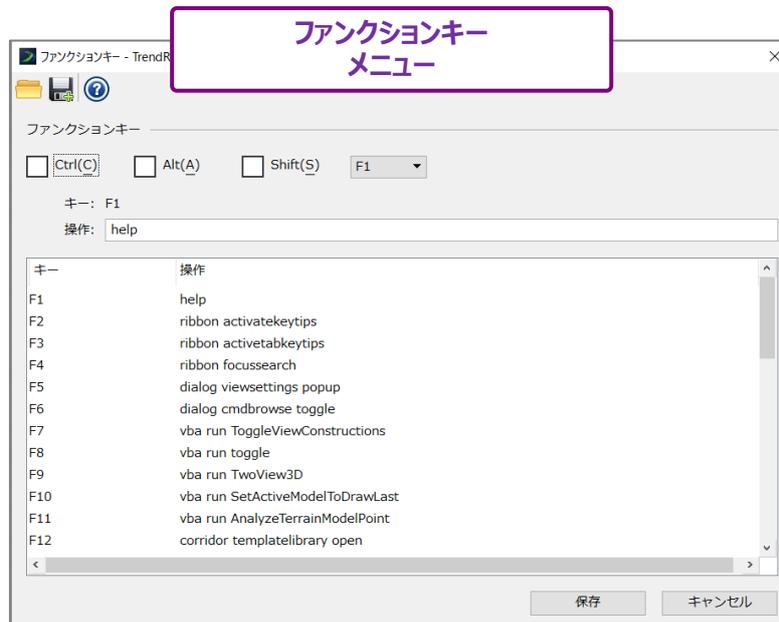
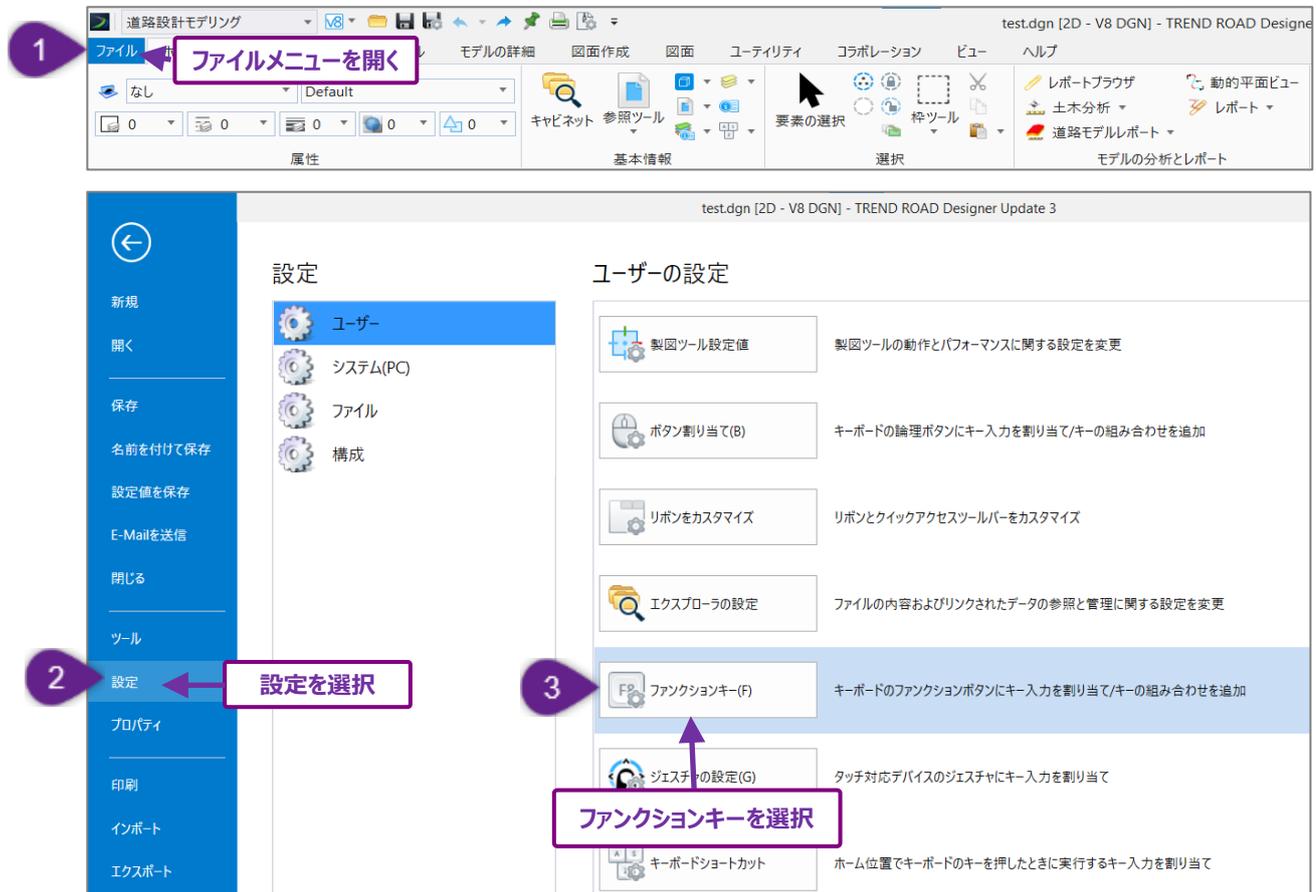
4C.5 ファンクションキー

ファンクションキーは、F1～F12キーにプログラムされたツールで、キーボードショートカットと同じ概念です。

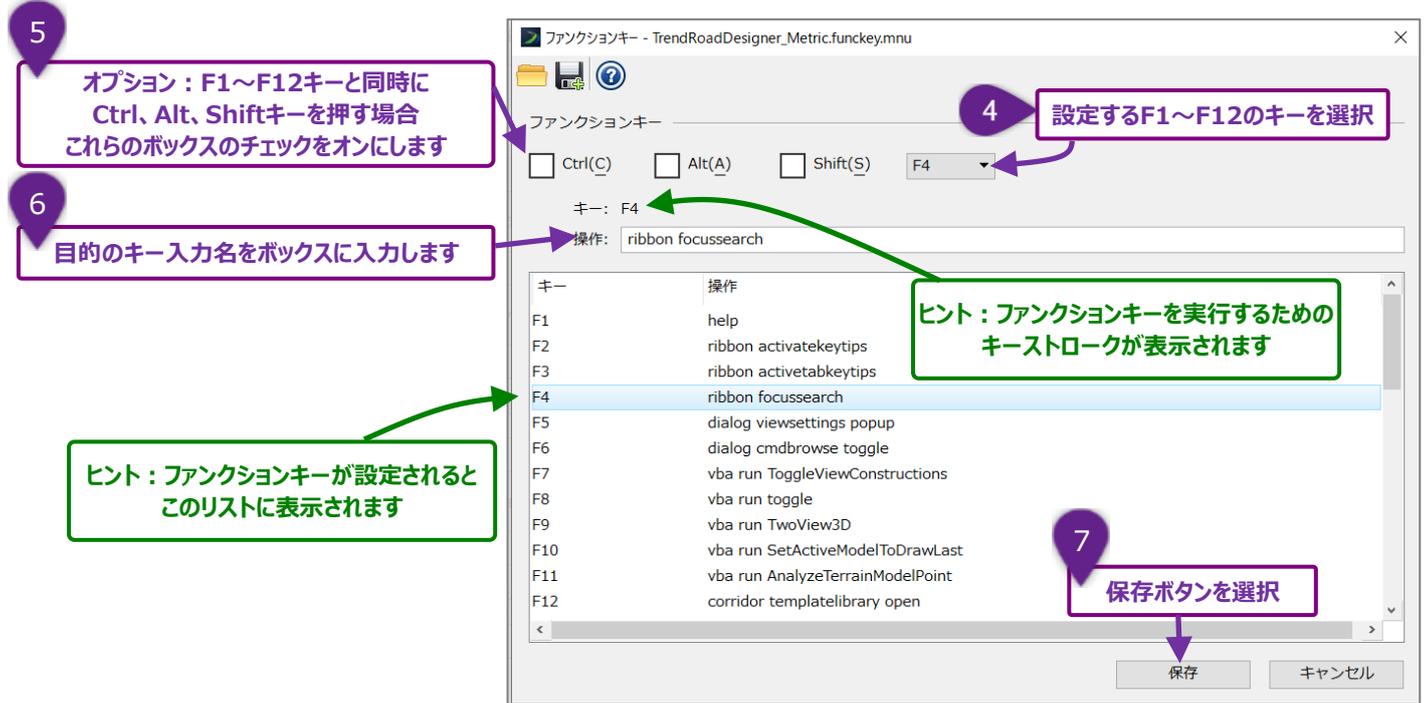
重要：キーボードショートカットと同様に、ファンクションキーをプログラミングする前に、特定のツールのキー入力名を知っておく必要があります。キー入力名を決定するには、「4C.2 キー入力名の決定」を参照してください。よく使用されるキー入力の一覧は、「4C.3 キーボードショートカットに便利なキー入力」を参照してください。

ファンクションキーは、以下の位置にあるファンクションキーメニューでプログラムします。

【ファイルメニュー → 設定 → ユーザー → ファンクションキー】



ファンクションキーのプログラミングの作成方法は以下の通りです。



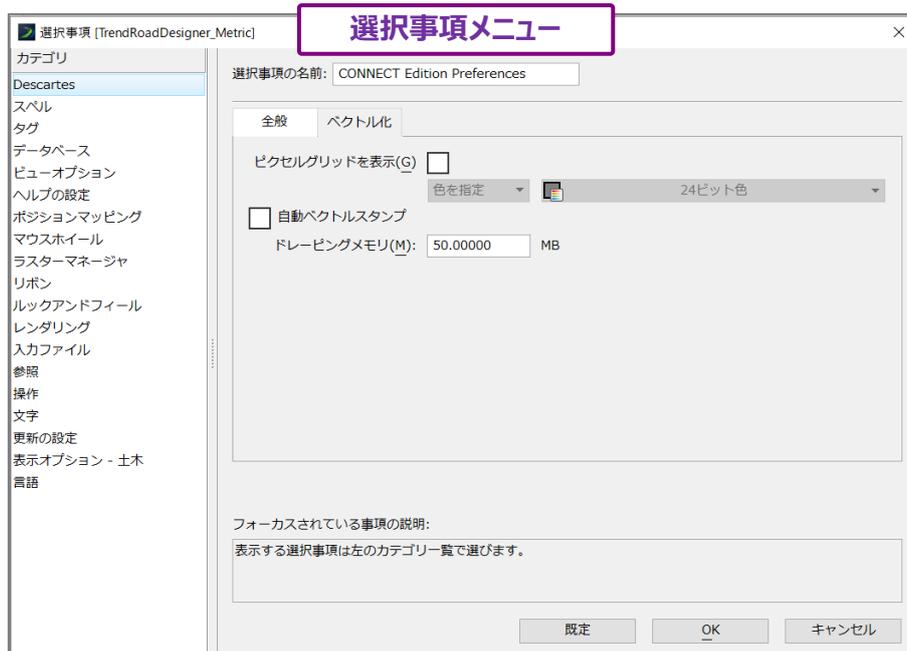
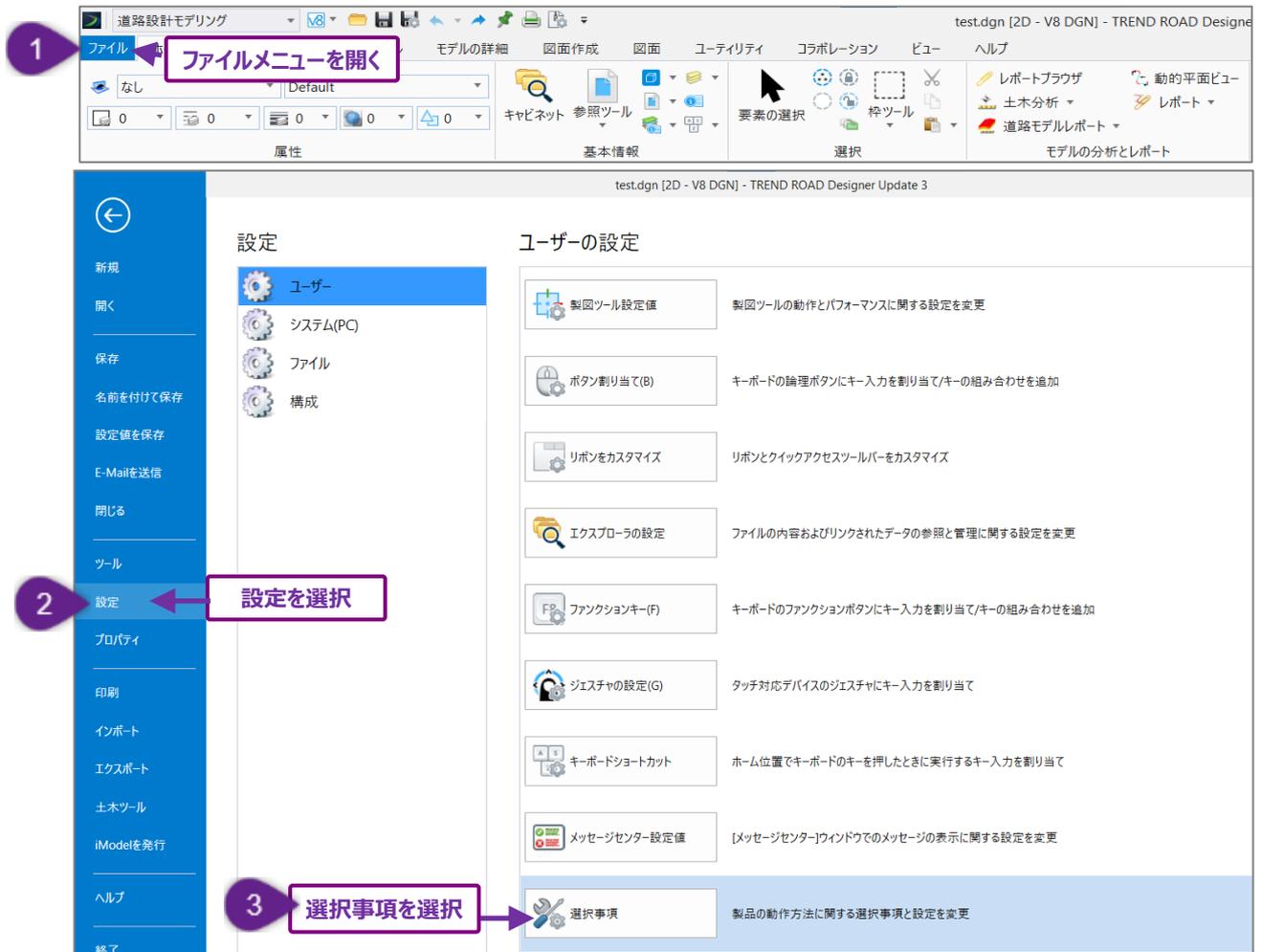
4	ドロップダウンから、どのF1～F12キーをプログラムするかを選択します。この例では、F4 キーが選択されています。
5	オプション： "Ctrl"、"Alt"、"Shift "のいずれかのボックスにチェックを入れると、ファンクションキーの実行にはこれらのキーも押す必要があります。 例えば、"Ctrl "と "Alt "のボックスがチェックされている場合、"Ctrl "と "Alt "+ F4を同時に押しファンクションキーを実行します。 ヒント ：ファンクションキーの実行に必要なキーは、キーの横に表示されています：
6	操作：ボックスに、ファンクションキー使用時に実行するツールに対応するキー入力名を入力します。
7	保存ボタンを押して、ファンクションキーを保存し、ファンクションキーメニューを閉じます。

4D ユーザー設定と選択事項

このセクションでは、TRDの動作や外観をカスタマイズするために使用されるユーザー設定→選択事項について説明します。

選択事項メニューは以下の位置にあります。

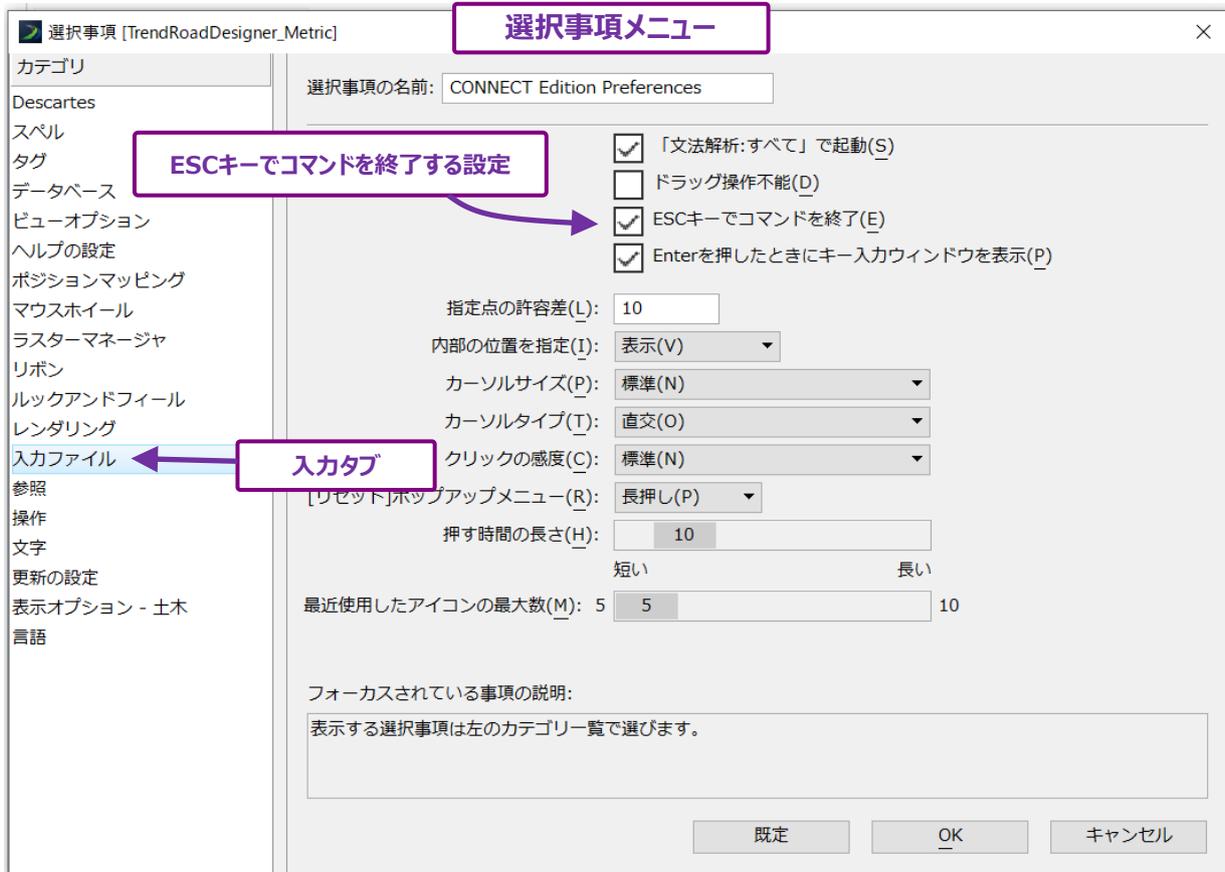
[ファイルメニュー → 設定 → ユーザー → 選択事項]



4D.1 閉じるコマンド

“ESCキーでコマンドを終了”ボックスがチェックされている場合、“ESC”キーを押すと現在のコマンドやツール操作を終了/中断します。デフォルトでは、このボックスはチェックオンです。

この設定は選択事項メニューの「入力ファイル」カテゴリにあります。

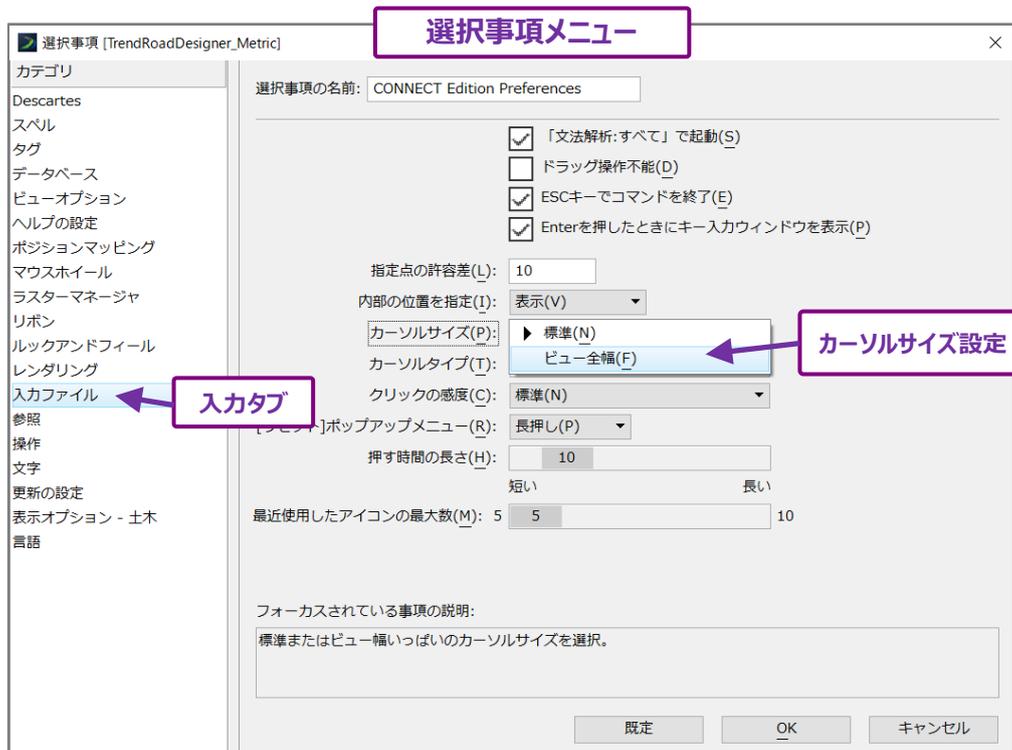
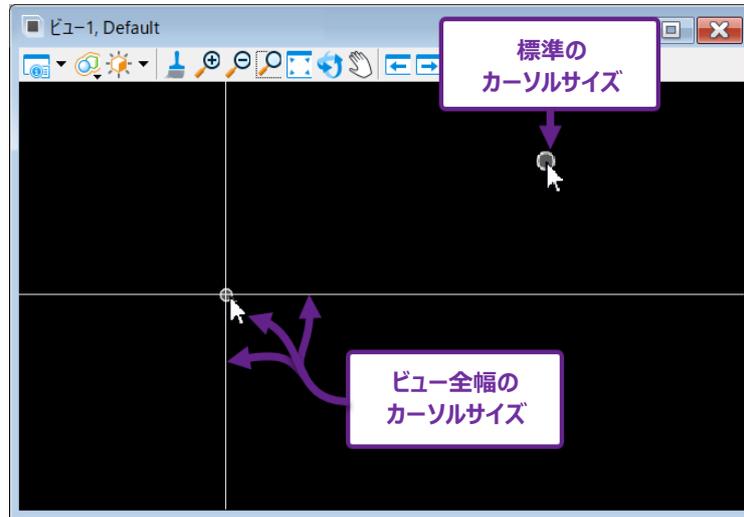


4D.2 マウスカーソルのサイズ変更

マウスカーソルのサイズとスタイルには2つのモードがあります。

標準 (デフォルト) : 標準のマウスカーソルのスタイルには十字線は含まれていません。

ビュー全幅 : マウスカーソルのスタイルに、ビューウィンドウの長さ全体に広がる十字線が表示されます。



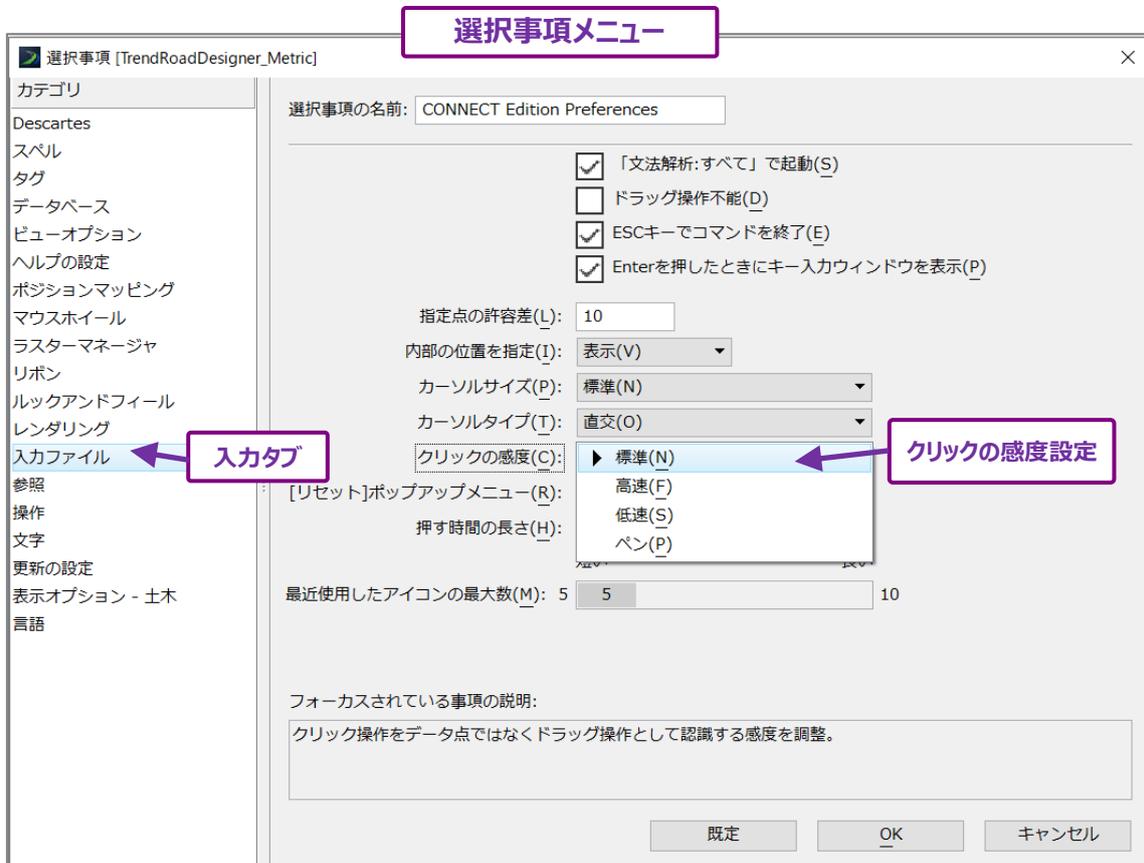
4D.3 マウスのクリック感度の変更

クリックの感度設定は、クリックがドラッグ操作になるまでの時間を決定します。

低速：最初にクリックしてからドラッグ操作を行うまでに時間がかかります。

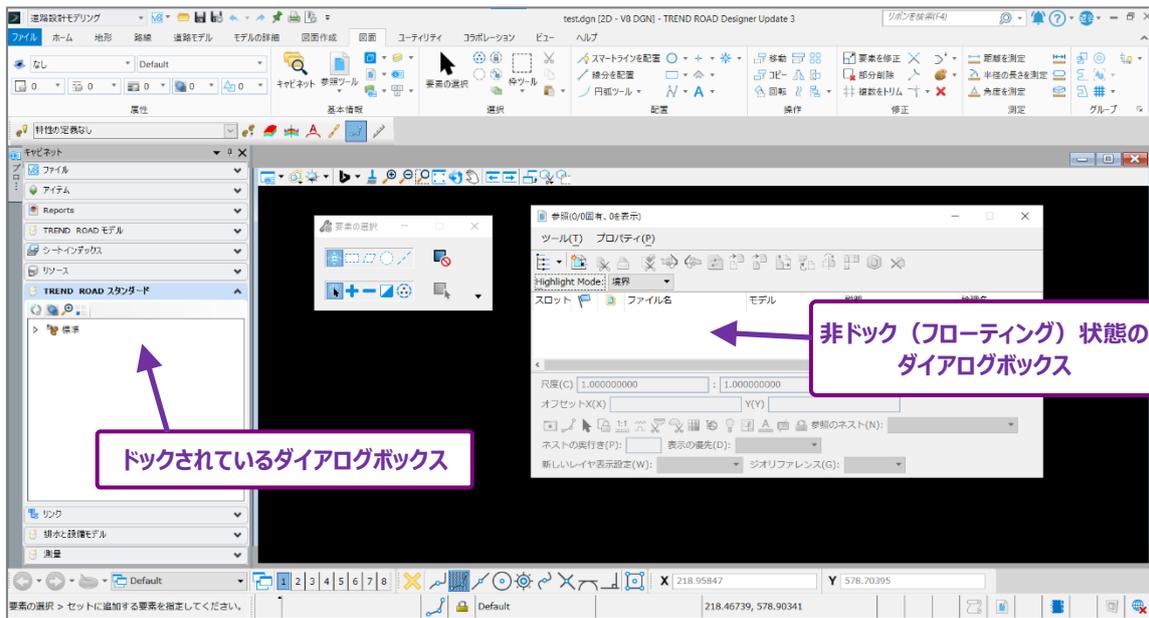
高速：最初にクリックした後、ほぼ瞬時にドラッグ操作が行われます。

ペン：タブレットやタッチスクリーン上でTRDを使用するためのオプションです。

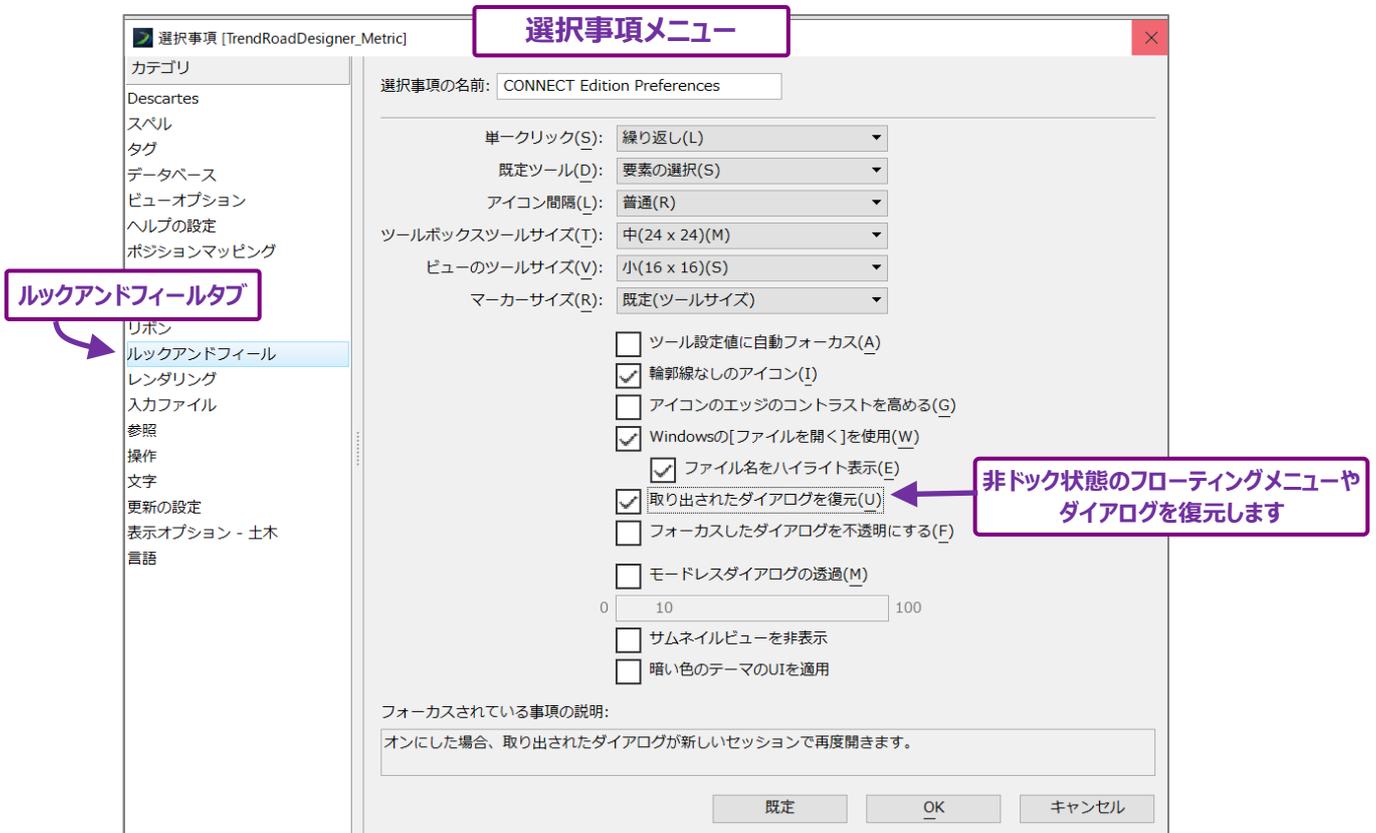


4D.4 非ドック状態のダイアログボックスの復元

非ドック状態のダイアログボックスとは、インターフェイスのウィンドウ上下や側面にアタッチされていないフローティングしているメニューのことです。



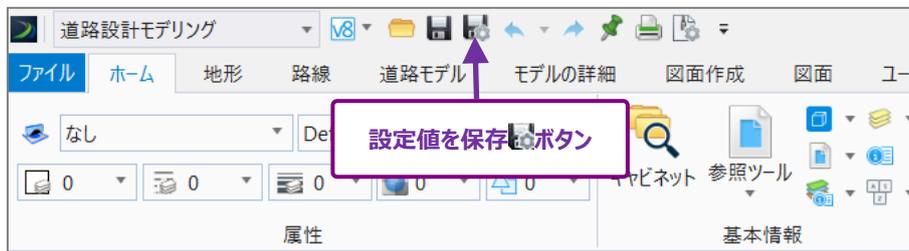
“取り出されたダイアログを復元”ボックスがチェックされている場合、フローティングメニューの位置は記憶され、次にTRDを開いたときに復元されます。このボックスがチェックされていない場合、次にTRDを開いたとき、以前に開いたフローティングメニューは復元されません。デフォルトでは、このボックスはチェックされていません。



4D.5 終了時に自動的に設定値を保存

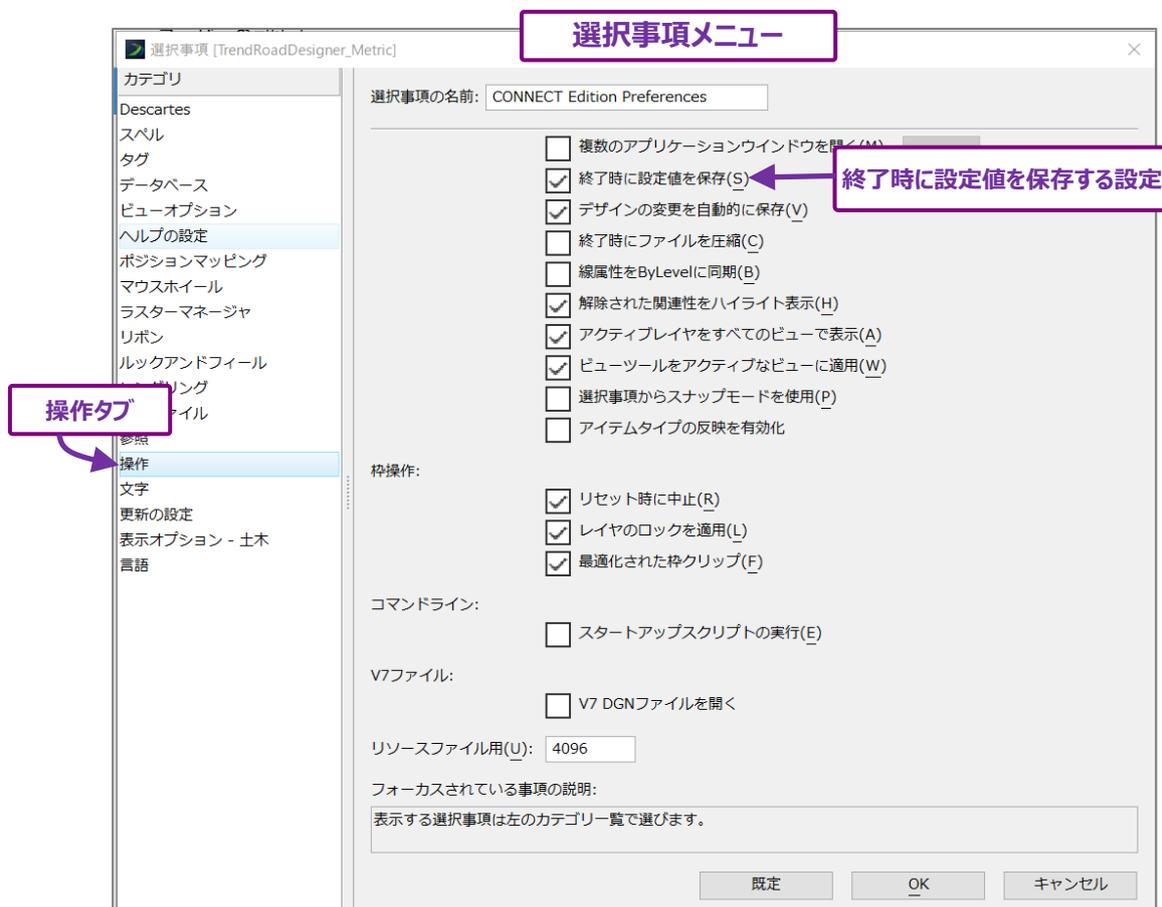
設定値を保存  ボタンは、クイックアクセスツールバーにあり、TRDファイルを次に開くときに、レイヤとビューウィンドウの位置やビューのズームを保存するために使用されます。

デフォルトでは、レイヤのON/OFFを切り替えた場合、次にTRDファイルを開く時にレイヤのON/OFFを維持するためには、設定値を保存  ボタンを押す必要があります。



選択事項メニューで、“終了時に設定値を保存”ボックスがチェックされている場合、ファイル終了時に「設定値を保存 」が自動的に実行されます。

備考：デフォルトでは、このボックスはチェックオンです。



4E キーボードショートカットと選択事項のバックアップと復元

ユーザーが設定したキーボードショートカットと選択事項は、Cドライブにある外部ファイルに保存されています。

キーボードショートカット設定ファイル：拡張子".xml"の外部ファイルに保存されます。通常、このファイルの名前は“TrendRoadDesigner_Metric.KeyboardShortcuts.xml”です。

選択事項設定ファイル：拡張子".upf"の外部ファイルに保存されます。通常、このファイルの名前は“TrendRoadDesigner_Metric.upf”です。

これらのファイルはCドライブの以下の位置にあります。

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Bentley\TRENDROADDesigner\24.0.0\prefs

名前	更新日時	種類	サイズ
civil	2025/05/08 10:34	ファイル フォルダー	
civil_commands	2025/06/11 10:59	ファイル フォルダー	
dwgdata	2025/03/28 9:27	ファイル フォルダー	
surveytools	2025/03/28 9:27	ファイル フォルダー	
accudrawSettings.xml	2025/06/11 10:58	Microsoft Edge HT...	1 KB
cache.ucf	2025/06/19 13:09	MicroStation®/f...	1 KB
configuration.xml	2025/03/28 9:26	Microsoft Edge HT...	1 KB
msdefaultlanguage.txt	2025/04/24 13:37	テキスト ドキュメント	1 KB
Personal.RibbonState.xml	2022/12/27 15:56	Microsoft Edge HT...	2 KB
Personal.lucf	2025/03/28 9:26	MicroStation®/f...	1 KB
Personal.upf	2025/03/28 9:27	MicroStation®/f...	156 KB
selectby.rsc	2025/06/11 10:14	MicroStation®/f...	1 KB
startscreen.xml	2025/06/19 11:35	Microsoft Edge HT...	1 KB
TrendRoadDesigner_Metric.dgnlib	2025/06/18 13:05	Bentley MicroStati...	47 KB
TrendRoadDesigner_Metric.DgnTextEditor.xml	2025/06/18 15:27	Microsoft Edge HT...	1 KB
TrendRoadDesigner_Metric.docking.xml	2025/06/19 11:35	Microsoft Edge HT...	27 KB
TrendRoadDesigner_Metric.explorer-settings.xml	2025/06/11 10:24	Microsoft Edge HT...	8 KB
TrendRoadDesigner_Metric.GroupPanels.xml	2025/06/19 11:35	Microsoft Edge HT...	80 KB
TrendRoadDesigner_Metric.KeyboardShortcuts.xml	2025/06/19 10:32	Microsoft Edge HT...	14 KB
TrendRoadDesigner_Metric.RibbonState.xml	2025/06/19 11:35	Microsoft Edge HT...	4 KB
TrendRoadDesigner_Metric.upf	2025/06/19 13:13	MicroStation®/f...	525 KB
webdropSettings.rsc	2025/06/19 11:35	MicroStation®/f...	1 KB

これらのファイルをバックアップするにはコピーしてください。コピーしたファイル名の最後に"_backup"を付けて変更します（例えば“TrendRoadDesigner_Metric_backup.upf”）。オリジナルファイルは削除や名前変更しないでください。

TRDを更新または再インストールした場合、バックアップファイルを使用してキーボードショートカットと選択事項を復元できます。バックアップ設定を復元するには、元のファイルを削除し、バックアップファイル名を元のファイル名と同じように変更します。